



2024年度 事業報告書

学校法人 桃山学院

| CONTENTS

2024年度の事業報告にあたって…	01	II. 事業の概要 ……	05	III. 財務の概要 ……	08
I. 法人の概要 ……	02	1. 桃山学院将来構想		IV. データで見る桃山学院 ……	21
		2. 桃山学院大学			
		3. 桃山学院教育大学			
		4. 桃山学院中学校高等学校			



2024年度の事業報告にあたって

学校法人桃山学院 理事長 出田 善蔵

桃山学院は1884年、英国聖公会宣教協会（CMS）が大阪の川口外国人居留地（大阪市西区）に三一小学校（男子英学校）を創設したことに端を発します。幾多の変遷を経て、昭和町キャンパスに中学校と高等学校および桃山学院大学ビジネスデザイン学部、和泉キャンパスに桃山学院大学と大学院を設置するに至っております。堺キャンパスに設置しておりました桃山学院教育大学は、2025年度より桃山学院大学人間教育学部として新たな歩みを始めております。各設置学校において、一貫して建学の本旨であるキリスト教精神に基づいた教育を行い、永い歴史のなかで優秀な卒業生を多数輩出し、社会から高い評価を得てきたことは、ステークホルダーの皆さまの変わらぬ尽力の賜と心より感謝申し上げます。

2024年度は、新たな5カ年計画である「桃山学院将来構想」の2年目となりました。本構想では、パーパス（教育機関としての存在意義）を「私たちは、キリスト教精神に基づく教育を通じて、社会課題の解決を目指す高い志と奉仕の心をもった人（サーバント・リーダー）を育て、持続可能な地域共生社会を実現します。」と定め、全世代型の教育機関への転換と持続可能な地域社会の実現に貢献することを宣言しております。

将来構想の下、人口減少などに伴う社会経済状況の変化に対して、この数年を持続可能な学院へと着実に歩み進めるための基盤を築く機会ととらえ、様々な改革に着手してまいりました。具体的には、2024年度には、和泉キャンパスに環境に配慮した木造新校舎「エレノア館」が竣工いたしました。エレノア館は学生の学び舎としてだけでなく地域連携活動においても積極的に活用する予定です。また、文部科学省の「少子化時代を支える新たな私立大学等の経営改革支援」の採択を受け、連携法人と共に経営基盤の強化に向けた取組も始めています。さらに、2025年度は桃山学院大学と桃山学院教育大学を統合し、2026年度には大学・高専機能強化支援事業の採択により、桃山学院大学としては初となる理系学部である工学部の設置も進めております。

本学院の主な取り組み

○事業計画と予算にかかるPDCAについて

理事会は、策定された事業計画に対してPDCAサイクルをまわしていくためにモニタリングを実施し、理事会および評議員会を中心にモニター情報を報告してきました。掲げた目標に対して進捗状況を共有することができ、計画に対しての実行を促進することができました。今後もより一層モニタリングの仕組みの構築に取り組み、掲げた目標が達成されるよう取り組んでまいります。

○キャンパス整備について

中長期保全計画にもとづき、安全確保、学生・生徒の満足度、快適性向上に資する改修を行いました。和泉キャンパスにおいては、総合体育館のサブアリーナ2や第2～6体育室への空調設備の設置、聖アンデレ館の外壁改修、メイングラウンドの人工芝とトラックの改修、テニスコートのフェンス・ネット・照明柱改修などを実施しました。また、人間教育学部設置に向けて合宿棟、聖マーガレット館の1・3階を実習室に改修、聖アンデレ館の5階全フロアと4階の一部を個人研究室等に改修いたしました。昭和町キャンパスにおいては、AED更新、第1体育館アリーナ空調改善、記念体育館サブアリーナへのWi-Fi環境設置などを実施しました。

○ガバナンスの整備と職員人事制度改革について

2025年4月1日より改正施行された私立学校法に基づき、執行と監視・監督の役割の明確化・分離および建設的な協働と相互牽制の確立を目指し、理事会および評議員会の構成変更ならびに寄附行為他関連諸規程の改訂・制定を行いました。これに加えて、内部統制システム整備の基本方針を策定しましたので、今後、内部統制システムの適切な運営、確認および改善を図ってまいります。

また、2021年度より、法人・桃山学院大学の専任職員を対象に、本俸等の改訂を含む新たな職員人事制度を導入し、大学教員においては、人事制度改革について継続的に検討を進めており、2024年度新規採用者から新たな給与体系を導入しております。

その他、桃山学院将来構想に係る具体的な取り組みについては「事業の概要」にも記載しております。

予測困難で変化の激しい現代において、人材育成の点からも教育研究機関への期待が大きくなる一方で、少子化や経済状況の影響等により、私学をとりまく環境は年々厳しさを増し、国際情勢悪化の影響はまだ続くものと想定されますが、本学院としましては、学院の持続性および発展性を担保し、かつ教育・研究活動の環境整備を支える堅固な財務基盤の構築を目指し、引き続き取り組んでまいります。皆さまの一層のご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。



I. 法人の概要

I. 法人の概要

1. 建学の精神

学校法人桃山学院の寄附行為には、「この法人は建学の主旨たるキリスト教精神に基づき、教育基本法、学校教育法および私立学校法に則り教育事業を行うことを目的とする。」(第3条第1項)と定められています。

■ 桃山学院の「キリスト教精神」—自由と愛の精神

桃山学院の学院章には、“SEQUIMINI ME”（我に従え）という言葉が刻まれています。それはアンデレがイエスに従ったように、「自由と愛の精神」をもって生きることです。使徒パウロが書いています。

「あなたがたは、自由を得るために召し出されたのです。ただ、この自由を、肉に罪を犯させる機会とせず、愛によって互いに仕えなさい。」（ガラテヤの信徒への手紙5章13節）

自由には他者への愛と責任がともないます。「自由」とはひとりひとりの人格と主体性を尊重すること、「愛」とは互いに仕えあいながら他者と共に生きることです。この「自由と愛の精神」は、たんにキリスト教の立場だけではなく、すべての人間が一致しうる普遍的な理念であり、人類共通の目標です。

人間のそのような可能性を開花させながら、高い理想をめざしてチャレンジしつづけていくこと、それこそが桃山学院の一世紀を超える伝統がめざそうとする「キリスト教精神」であり、「世界の市民」への道なのです。

■ 桃山学院の「学院章」



この学院章は、イエス・キリストの最初の弟子である聖アンデレ（St. Andrew）にちなんでデザインされている。「アンデレ・クロス」（X字型の十字架）は、イエスの教えを守り通して殉教したアンデレの偉大なる生涯のシンボルである。「SEQUIMINI ME」（「我に従え」というラテン語）は、アンデレがイエスに出会った時に呼びかけられた言葉である。したがって学院章は、アンデレのように最後まで「自由と愛」のキリスト教精神によって生きること示している。

2. 沿革

1884年	英国聖公会宣教協会(CMS)、大阪川口居留地(大阪市西区川口)に三一小学校(Boys' School)創設	2003年	桃山学院大学大学院、社会学研究科応用社会学専攻(博士後期課程)設置
1890年	高等英学校、西区江戸堀の仮校舎で開校(同年末天王寺区筆ヶ崎町に移転、翌年1月新校舎開校式挙行)	2006年	桃山学院大学、経済学部経済学科中国ビジネスキャリアコース設置／桃山学院大学大学院、経営学研究科経営学専攻日中連携ビジネスコース設置(2018年廃止)、文学研究科英語英米文学専攻・国際文化学専攻を英語圏文化学専攻・国際文化学専攻・応用言語学専攻の3専攻に改組
1895年	高等英学校を桃山学院に改称	2007年	桃山学院高等学校、S英数コース設置(男女共学)、標準コースにアスリートクラス設置、英数コースを男女共学化
1896年	桃山学院に改称	2008年	桃山学院中学校開校(昭和町キャンパス)／桃山学院大学、文学部を国際教養学部へ改組
1902年	中学校令による認可を受け、私立桃山中学校開校(※大阪で最初の私立中学校)	2009年	学院創立125周年・大学開学50周年記念式典挙行、記念式典に英国聖公会カンタベリー大主教(Dr. Rowan Douglas Williams)臨席
1912年	現昭和町キャンパス(大阪市阿倍野区)に移転	2011年	桃山学院高等学校、標準コースを文理コースに改称(同時に男女共学化)
1947年	新制桃山中学校発足	2012年	桃山学院大学大学院、文学研究科英語圏文化学専攻・国際文化学専攻・応用言語学専攻(博士前期課程)を比較文化学専攻に改組
1948年	新制桃山高等学校発足	2015年	桃山学院大学、国際教養学部国際教養学科を英語・国際文化学科に改称
1949年	桃山学院高等学校、桃山学院中学校に校名変更	2017年	プール学院大学の設置者を本学院に変更する申請が認可
1951年	学校法人桃山学院認可	2018年	桃山学院教育大学(教育学部教育学科、堺キャンパス(堺市南区横塚台)で開学)／桃山学院大学大学院、文学研究科比較文化学専攻(博士前期課程)を言語・文化専攻に改称
1959年	桃山学院大学(経済学部経済学科)、昭和町キャンパスで開学。開学式に英国聖公会カンタベリー大主教(Dr. Geoffrey Francis Fisher)臨席	2019年	桃山学院大学、本町BDL(ビジネスデザインラボ、大阪市中央区)に経営学部ビジネスデザイン学科設置、学院創立135周年・大学開学60周年
1962年	桃山学院英語学校開校(1983年閉校)	2020年	桃山学院教育大学、教育学部教育学科を人間教育学部人間教育学科に改称／桃山学院大学、経営学部ビジネスデザイン学科をあべのBDL(ビジネスデザイン・ラボ、大阪市阿倍野区)に移転
1966年	桃山学院大学、社会学部社会学科設置	2021年	桃山学院大学、ビジネスデザイン学部ビジネスデザイン学科設置(経営学部ビジネスデザイン学科より改組)
1971年	桃山学院大学、登美丘キャンパス(堺市東区西野)に学舎統合	2022年	桃山学院大学、社会学部社会福祉学科をソーシャルデザイン学科に改称
1973年	桃山学院大学、経営学部経営学科設置／桃山学院短期大学開学(1990年閉学)	2024年	桃山学院大学、ビジネスデザイン学部ビジネスデザイン学科情報テクノロジーコース設置
1984年	学院創立100周年記念式典		
1987年	桃山学院高等学校、英数コース設置／桃山学院大学、チャペル地割式に英国聖公会カンタベリー大主教(Dr. Robert Runcie)臨席		
1989年	桃山学院大学、文学部英語英米文学科・国際文化学科設置		
1993年	桃山学院大学大学院、文学研究科英語英米文学専攻・国際文化学専攻(修士課程)、経営学研究科経営学専攻(修士課程)設置		
1995年	桃山学院大学および法人事務局、和泉キャンパス(和泉市まなび野)に全面移転		
1998年	桃山学院大学、社会学部社会福祉学科設置／桃山学院大学大学院、経済学研究科応用経済学専攻(修士課程)設置		
1999年	桃山学院大学大学院、文学研究科比較文化学専攻(博士後期課程)、経営学研究科経営学専攻(博士後期課程)設置		
2000年	桃山学院大学大学院、社会学研究科応用社会学専攻(修士課程)設置		
2001年	桃山学院高等学校、国際コース設置(男女共学)		
2002年	桃山学院大学、法学部法律学科設置／桃山学院大学大学院、経済学研究科応用経済学専攻(博士後期課程)設置		

■ 聖公会とは

聖公会とは、ローマ・カトリックとプロテスタントに大別される西方キリスト教会の中で、両者の要素を兼ね備えた英国聖公会（Church of England）の流れをくむ教派です。現在、ヨーロッパ、南北アメリカ、アフリカ、アジア、太平洋など世界約165ヶ国の国々で活動を展開し、約8,500万人の信徒数を有する組織で、カンタベリー大主教を精神的指導者と位置づけています。

このような世界的な組織の中の一つが、日本聖公会です。日本においては、主教・司祭・執事の三職位の聖職や伝道師・宣教師・聖職候補生ら約230名の教役者が約250の教会・礼拝堂・伝道所に遣わされ、キリスト教の宣教活動に加え、様々な教育・医療・社会福祉などの事業を全国各地で行っており、教会では約1.5万人の信徒が信仰を守っています。

桃山学院は日本聖公会関係学校協議会に加盟しており、加盟校には、立教学院、立教女学院、香蘭女学校、聖路加国際大学、柳城学院、平安女学院、プール学院、松蔭女子学院、八代学院などがあります。

その他の関係施設では、聖路加国際病院、新生病院、聖バルナバ病院はよく知られており、また、多くの社会福祉法人や幼稚園・認定こども園等もあり、日本社会に貢献しています。

3. 設置する学校・学部・学科等（2024年5月1日現在）

◆桃山学院大学

学部

国際教養学部／英語・国際文化学科
社会学部／社会学科、ソーシャルデザイン学科
法学部／法律学科
経済学部／経済学科
経営学部／経営学科
ビジネスデザイン学部／ビジネスデザイン学科

大学院

文学研究科（博士前期・後期課程）
社会学研究科（博士前期・後期課程）
経済学研究科（博士前期・後期課程）
経営学研究科（博士前期・後期課程）

◆桃山学院教育大学

人間教育学部／人間教育学科（幼児教育課程、小学校教育課程、健康・スポーツ教育課程）

◆桃山学院中学校

6年一貫コース（選抜、進学）

◆桃山学院高等学校

S選抜コース、S英数コース、
英数コース、文理コース、国際コース、中高一貫コース

4. 校地・校舎等の概要

(1)校地等所在地（2025年3月31日現在）

名 称	所 在 地
法人事務局	〒594-1198 大阪府和泉市まなび野1-1（和泉キャンパス）
桃山学院大学	〒594-1198 大阪府和泉市まなび野1-1（和泉キャンパス）
	〒545-0011 大阪市阿倍野区昭和町3-1-57（あべのBDL） 聖テモテ館4階～9階
桃山学院大学大学院	〒594-1198 大阪府和泉市まなび野1-1（和泉キャンパス）
桃山学院教育大学	〒590-0114 大阪府堺市南区槇塚台4-5-1（堺キャンパス）
桃山学院中学校高等学校	〒545-0011 大阪市阿倍野区昭和町3-1-64（昭和町キャンパス）※聖テモテ館1階～3階含む



和泉キャンパス

(2)土地・建物面積（2025年3月31日現在）

名 称	土地面積(㎡)	建物床面積(㎡)
和泉キャンパス	149,056.00	88,369.14
松尾寺グラウンド	35,384.00	719.91
堺キャンパス	37,431.00	17,370.66
昭和町キャンパス	26,395.00	45,319.97
その他土地（奈良/滋賀/長野）	8,254.00	—
計	256,520.00	151,779.68



堺キャンパス



昭和町キャンパス



1. 法人の概要

5. 役員・評議員の概要 (2025 年 3 月 31 日現在)

(1)役員 (定員 理事:11名以上15名以内、監事:3名)

理 事 長	出田 善蔵 (常勤)
学 院 長	磯 晴久 (非常勤)
常務理事	中野 瑞彦 (常勤) / 桃山学院大学長・桃山学院教育大学長
	生田 耕三 (常勤) / 常務理事・桃山学院高等学校長
	原 徹 (常勤) / 常務理事・桃山学院事務局長
理 事	内田 望 (非常勤)
	上原 猛 (非常勤)
	北野 晋一郎 (常勤) / 桃山学院高等学校教頭
	巖 圭介 (常勤) / 桃山学院大学副学長
	田尻 忠邦 (非常勤)
	西村 浩一 (非常勤)
	飼馬 誠 (非常勤)
監 事	山田 陽彦 (非常勤)
	堀 智子 (非常勤)
	藤原 敏正 (常勤)
	戸松 幹孝 (非常勤)

(2)評議員 (定員 30名以上36名以内)

桃山学院長	磯 晴久								
桃山学院大学長	中野 瑞彦								
桃山学院大学副学長	巖 圭介								
桃山学院大学の各学部長	井田 憲計	小野 達也	伊藤 潔志	和栗 珠里	江藤 隆之	濱島 敦博			
桃山学院教育大学長	中野 瑞彦								
桃山学院教育大学学部長	中村 浩也								
桃山学院高等学校長	生田 耕三								
桃山学院事務局長	原 徹								
桃山学院中学校高等学校教員	北野 晋一郎	田中 智晴							
事務職員	山中 一雄	松田 義弘	嶋田 剛						
卒業生	田尻 忠邦	上田 信夫	宗川 暢一	上原 猛	藤原 達治郎	奥田 通雄			
日本聖公会教役者または信徒	宇野 哲夫	齊藤 壹	内田 望						
学識経験者	馬越 かよ子	石川 清	油谷 美嘉	相間 靖三	西村 浩一				

6. 教職員の概要 (2024 年 5 月 1 日現在)

(1)教員数

	学 部	教 授	准教授	講 師	計	共通教育機構 契約教員	兼任講師	チャプレン
桃山学院大学	国際教養	11	12	2	25	17	240	1
	社会	19	16	1	36			
	法	11	6	2	19			
	経済	18	13	4	35			
	経営	18	3	6	27			
	ビジネスデザイン	6	7	2	15			
	共通教育機構	1	1	0	2			
	計	84	58	17	159			
桃山学院教育大学	学 部	教 授	准教授	講 師	助 教	計	兼任講師	チャプレン
	人間教育	20	17	3	1	41	109	1
桃山学院中学校高等学校	教諭(※1)	常勤講師	英語科特別教員	計	兼任講師			
	76	40	1	117	68			

※1:チャプレン1名を含む

(2)職員数

所 管	専 任	特定業務	契 約	派 遣	パート・アルバイト	実習助手	計
法人事務局	24 (※1)	4	12	3	4	0	47
桃山学院大学	66	1	30	28	16	2	143
桃山学院教育大学	14	1	10	6	2	0	33
桃山学院中学校高等学校	7	0	1	4	6	4	21
計	109 (※2)	6	53	41	28	6	244

※1:出向者2名を含む

※2:兼務者がいるため合計は一致しない

II. 事業の概要

2024年度における中長期計画、設置学校の主な事業計画および進捗状況等は以下のとおりです。

1. 桃山学院将来構想

2023年度より2027年度までの5か年の中長期計画である「桃山学院将来構想」がスタートしています。本構想は、第一期中長期ビジョン（2005年度-2012年度）、第二期中長期ビジョン（2013年度-2022年度）から続く、本法人における中長期経営計画の第3フェーズ（2023年度-2027年度）であり、これまで中長期ビジョンの中で積み上げてきた、教育研究基盤と確かな実績をもとに、更なる成長と発展に向けた指針を示したものです。

2024年度の主な取り組みと成果は以下の通りです。

1. 大学学部学科構成の最適化

- ①2025年度からの桃山学院大学人間教育学部の開設（桃山学院大学と桃山学院教育大学の統合）が認可されました。
- ②文部科学省の「大学・高専機能強化支援事業」採択による理系新学部設置に関して、2026年度に「工学部工学科」を設置することについて文部科学省へ認可申請を行いました。また、工学部の教場となる新校舎の建設計画を開始いたしました（フェーズ2）。

2. キャンパス整備

- ①和泉キャンパスにおける木造3階建新校舎「エレノア館」を竣工しました。
- ②桃山学院大学人間教育学部開設に向けて、必要となる実習施設・研究室等の整備を行いました。
- ③聖バルナバ館1階をリニューアルしました（愛称:co-momo）。

<エレノア館>



<co-momo>



3. 将来構想共創パートナー

昨年度に引き続きパートナーの募集を行い、新たに5団体より申し込みを受け、パートナーの認定を行いました（合計8団体）。また、2025年1月に「将来構想共創パートナーの集い」を行い、次年度からの本格的な共創事業に向けて意見交換を行いました。

4. 経営基盤改革

文部科学省より令和6年度「少子化時代を支える新たな私立大学等の経営改革支援」の「メニュー2:複数大学等の連携による機能の共同化・高度化を通じた経営改革支援」の採択を受け「複数大学連携シェアードサービス化促進事業」を開始しています。本事業は連携法人（八代学院、平安女学院）と共に主に間接部門のシェアードサービス化等を通じてコスト削減・高効率化を目指すものです（支援期間は2024年度から2028年度まで）。

2024年度は、間接消費財の共同調達のパイロット運用、共同研修の実施、給与共済・経理業務のシェアードサービス化に向けた取組等を行いました。



II. 事業の概要

2. 桃山学院大学

■ 教育理念

桃山学院大学では、開学以来「キリスト教精神に基づいて人格を陶冶し、世界の市民として広く国際的に活躍し得る人材の養成」を建学の精神とし、つねに行動力のある「世界の市民」の養成につとめてきました。これまで経験したことのない、新しい国際時代を迎えた今日、言語や文化の違いを超えた「地球社会」への積極的な貢献こそが、本学に求められる重要な使命（ミッション）であると考えます。



学長 中野 瑞彦

■ ミッションステートメント（社会的使命）

桃山学院大学は、自由と愛の精神に基づく学びの場として、ここに集うすべての人の多様な価値観を認め合いながら、向上心を絶やさず、みずから考え、積極的に行動する世界の市民を育むことを使命とする。

■ 学長、副学長、学部長、研究科長（2024年度）

学 長：中野 瑞彦	経済学部長：井田 憲計
副学長：巖 圭介	社会学部長：小野 達也
副学長：辻井 誠人	経営学部長：伊藤 潔志
副学長：辻本 法子	国際教養学部長：和栗 珠里
	法学部長：江藤 隆之
	ビジネスデザイン学部長：濱島 敦博
	経済学研究科長：大島 一二
	社会学研究科長：名部 圭一
	経営学研究科長：三輪 卓己
	文学研究科長：有川 康二

■ 主要課題への取り組み

1. 学部教育改革

学部教育改革の目的を、本学の教育内容を社会のニーズに応えつつ社会貢献に資する内容とすることでであると捉えた上で、各学部とも第二次大学中期計画に向けて策定した改革案に則って2024年度の実行計画を策定し、大学執行部へその進捗状況を適宜報告しながら実施してきました。

3. 桃山学院教育大学

■ 教育理念

桃山学院教育大学は、すべての学生が、本学の生活を通じて人間として成長・成熟し、自分自身の人生を自覚した責任あるものとして生きていく力（我の世界を生きる力）、有能な社会人として生きる力（我々の世界を生きる力）をつける「人間教育」をめざしています。その上で、教育者として社会的使命を果たすべく、知識や技能、思考力や問題解決力等を指導できる「実践的な力」に加え、「人間教育」へ導く力を涵養します。



学長 中野 瑞彦

■ ミッションステートメント（社会的使命）

キリスト教精神に基づく人間教育を実現し、自らを磨き、人生を主体的に生き抜く個人の育成を使命とする。

■ 学長、副学長、学部長（2024年度）

学 長：中野 瑞彦
副学長：二瓶 弘行
学部長：中村 浩也

具体的には、各学部ともカリキュラムの見直しや探究型授業の拡充を進めるとともに、地方自治体・産業界との連携による授業を実施し、教育内容の質の向上を図ることができました。また、新入生に対する初年次学修の支援や高大接続の取り組みの強化、および学生の学びの成果をより学外へ発信する取り組みの強化を通じて、多くの成果を出すことができました。

2024年度は、学部の3つのポリシーの見直しに着手しました。次年度からは第三次大学中期計画の1年目として、「学修者本位の教育」を更に強化するために、学生の学修到達度を可視化しながら教育改革を進めていきます。

2. 共通教育改革

- ①基礎教養科目および教養教育科目のカリキュラム・マップを策定しました。
- ②英語教育カリキュラム改革について、2025年度開講を実現しました。
- ③文部科学省の「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）」に申請を行い、認定されました。

3. 研究改革

- ①本学教員の研究成果を対外的に発信することを目的に、著書についての執筆者コメントやインタビュー内容をWEBサイトで紹介しました。
- ②シンポジウムについて、2025年3月19日に経済学部主催で「第3回 桃山経済研究会～現代経済と産業の諸論点～」を実施しました。

4. 教育研究資産改革

- ①有形資産については、エレノア館の建設、また聖バルナバ館、図書館の改修等を行いました。加えて、新たに電子書籍を購入し、電子書籍の蔵書数を拡充することでデジタル化の推進を行いました。
- ②無形資産については、外部向けのオンデマンド授業活用として、大学コンソーシアム大阪に本学のオンデマンド授業を単位互換科目として提供し、多くの受講者を受け入れました。

※各学部学科および各研究科の「ディプロマ・ポリシー」「カリキュラム・ポリシー」「アドミッション・ポリシー」については、大学Webサイトに公表しています。

■ 主要課題への取り組み

1. 教育内容の充実

①新コース、新プログラムの着実な運用と展開

4年目となる新コース（国語教育コース、英語教育コース）については、2年次からのコース分属を経て、各コースのカリキュラムに則り授業を実施しました。教員免許状の取得者数（延べ数）は、幼稚園一種30名、小学校一種124名、中高一種（国語）28名、中高一種（英語）14名、中高一種（保健体育）57名、特別支援一種31名、養護一種22名、保育士16名となりました。また、チーム学校を支援するための新プログラム（教育相談実践基礎プログラム、日本語教員養成プログラム、部活動指導者養成プログラム）については、履修ガイダンス時に各プログラムリーダーによって、これらの内容を学生に説明した結果、2023年度末時点と比べて履修登録者が増加しました。各プログラムの初の修了者数は、教育相談実践基礎プログラム3名、日本語教員養成プログラム2名、部活指導者養成プログラム29名となりました。また、新設された国家資格「登録日本語教員」試験の合格者を初めて輩出しました。

その他の資格取得者は、准学校心理士21名、スポーツコーチングリーダー（公認スポーツ指導者）17名となりました。

②基礎学力向上への支援

学生が1、2年次の間にそれぞれの学力状況に応じて授業および

授業外で自分の理解が不十分なところを補完して学ぶことのできる AI 搭載型の e-ラーニングシステムを導入して3年目に入りました。システムの導入等による支援の結果、基礎的教養に不安のあった学生の基礎学力が向上しました。本システムについて、「キャリア基礎（一般教養）」の授業での運用と検証を行いつつ、専門教育と教員採用試験をはじめとする就職試験で求められる基礎学力をしっかりと身につけることができるよう引き続き支援していきます。

2. 教員採用試験合格対策

教職センターの指導体制強化や同センターと授業との連携、また、学生の努力により、2024年度は教員・保育士の採用試験の現役合格者が2023年度より更に増加しております。

3. 地域等との連携強化（自治体、教育委員会、企業等）

連携事業については、大阪府をはじめとする自治体や、企業等とも積極的に実施しました。今後、さらに企業等とも連携し、学生や教職員が行う様々な取り組みの充実を図ります。特に、学生の2年次でのインターンシップ先を拡充し、地域等での貢献と学びを実感できるよう支援してまいります。

4. 国際交流プログラムの充実

新規プログラムとして、8月にタイ教育研修（参加学生7名）を実施しました。また、2月にはフィリピン研修（参加学生4名）、カンボジア研修（参加学生11名）、カナダ交換プログラム（派遣：参加学生2名）、ニュージーランド研修（参加学生5名）を実施しました。

※「ディプロマ・ポリシー」、「カリキュラム・ポリシー」、「アドミッション・ポリシー」については、大学Webサイトにて公表しています。

4. 桃山学院中学校高等学校

■ 教育理念

桃山学院中学校高等学校では、キリスト教精神を教育の大きな柱として、生徒一人ひとりの人格を尊重し、健やかな心身の成長と豊かな学力の形成をめざすことで社会のために責任ある一員となる人物を育てることを教育の基本方針としています。生徒を信頼し、自由を尊重する民主的な校風のもと、のびのびと学生生活を送ってもらうことで、自らの責任を自覚し、自主的な規律を持ち、それを守っていく良識ある若者を育てていきます。



学校長 生田 耕三

■ ミッションステートメント（社会的使命）

桃山学院中学校高等学校は、自由と愛の精神に基づく学びの場として、生徒一人ひとりを大切に、個々の生徒が持つ多様な可能性を開花させ、健全な社会の実現に貢献できる若者を育成することを使命とする。

■ 校長、教頭、チャプレン、部長、主任（2024年度）

校 長	： 生田 耕三	
高校教頭	： 北野晋一郎	
中学教頭	： 田中 智晴	
チャプレン	： 松平 功	高校3学年主任：塩田 北斗
教務部長	： 前波 範一	高校2学年主任：濱井 俊行
生活指導部長	： 谷村 憲貴	高校1学年主任：藤原麻智子
進路指導部長	： 横山 佳幸	中学主任代表：松村 諭
自治会指導部長	： 橋本 直人	

■ 主要課題への取り組み

1. 進路指導の充実

2025年度入試において、S選抜コースを軸に難関大学に多くの生徒がチャレンジし、京都大学に5名合格、国立難関10大学＋国公立医学科（京都大学5名、大阪大学16名、国立医学科3名を含む）に41名合格、難関私学（早慶上理・関西4私大）に432名（延べ）合格しました。また、中学校の放課後学習の充実を図ると共に、高校の放課後学習の改革にも取り組みました。高校においては従来の自習ステージ、M1ゼミに加え個別学習指導の充実を計画しています。

2. 教員の指導力の向上

教員相互の授業見学を実施するとともに、新任教員（常勤12名）が「授業研究所」セミナーを受講しました。生徒対象の授業アンケートも実施し、それぞれの評価を教科等で共有、指導力向上に繋げました。

3. グローバル教育の推進

米国聖公会関係学校との交換留学制度は従来の1校に加え、新たにターム留学（1学期）として1校との交換留学を実施しました。2025年度は更に1校追加し3校との交換留学を実施予定です。また、文理・英数コースのカナダ短期研修、国際コースのカナダ短期留学、アジア研修（台湾新宮高校）およびカナダ1年留学を実施しました。さらに、新たにターム留学も開始するほか、一貫コースが交流しているイギリスの学校から2025年度の夏に生徒が来日し交流をする予定です。

海外からの一般入学生については2025年度6名（中国）が入学しました。国際交流を通して国際社会で活躍できる若者の育成を行っています。また、引き続き米国との交換留学制度を活性化することに注力するとともに、今後も海外からの一般入学生を受け入れ、異文化が共生する環境を創造していきます。

4. 生徒満足度の向上

満足度は、中学生92.9%、高校生90.6%、また保護者アンケートで、「子どもは学校へ行くのを楽しみにしている。」の回答で、中学保護者82%、高校保護者86%の回答です。すべての項目において、100%により近づくよう努めます。

5. SDGs 活動への取り組み

- ① スクール・バイ・スクール（2001年に設立された海外に学校を建設するプロジェクト）の活動において、発展途上国に飲料水確保を目的とした溜池の建設計画を実施中です。また、ウクライナ・ボブリク校の食堂工事は予定通り完了しました。その後もオンラインで現地の生徒たちとの交流は続いており、学校紹介ビデオを交換したり、クリスマスカードを送ったりした結果、ウクライナからも民族衣装などが送られてきています。
- ② リメイク活動（生徒が学内施設を補修する活動）においては、予定通り12月にF館エントランスを塗装しました。
- ③ 使い捨てカイロ・保冷剤・廃棄ビニール傘・ペットボトルキャップのリサイクル活用を実施しました。
- ④ AED講習会（新任教員、各学年単位）、響プロジェクト（講演会）、聖バルナバ病院での思春期講座を実施しました。



Ⅲ. 財務の概要

Ⅲ. 財務の概要

私立学校法および学校法人会計基準に基づき作成した計算書類について、その概要を以下のとおり記載しご報告いたします。

なお、ここでの数値比較は、資金収支計算書および事業活動収支計算書につきましては予算額を、貸借対照表につきましては前年度残高をもとにしています。また、各資料に用いた数値はそれぞれ千円単位未満を四捨五入しているため、合計額が一致しないことがあります。

■ 学校法人会計について

学校法人は教育研究活動を第一の目的とし、経費の大部分を学生からの学費や税金を原資とした補助金で賄っているため、極めて公共性の高い法人といえます。その公共性の高さから、企業が営利を主たる目的とするのとは異なり、学校法人は利益の獲得を目的とするものではありません。そのため、学校法人会計では、収支の均衡の状態および財政状態を正確に把握し、公共性の高い法人として持続的な発展を図ることが主な目的になっています。

■ 基本金について

学校法人が教育研究活動を行っていくためには資産（校地・校舎・機器備品・現金預金）の維持・充実が必要不可欠です。そのために必要な金額を教育研究計画に基づき、負債とならない学校法人全体の収入の総額（以下、事業活動収入）から組入れたものが「基本金」です。「基本金」には以下の4種類があります。

第1号基本金：自己資金で取得した固定資産の額（校地、校舎、機器備品、図書等の固定資産として保有）

第2号基本金：将来、固定資産を取得するために事前に留保した資産の額（現金預金、有価証券等の引当資産として保有）

第3号基本金：基金として継続的に保持・運用する資産の額（現金預金、有価証券等の引当資産として保有）

第4号基本金：学校法人の円滑な運営に必要な運転資金として保持する資産の額（現金預金、有価証券等の引当資産として保有）

1. 資金収支計算書

資金収支計算書は当該会計年度の諸活動における全ての収入と支出を明らかにして、支払資金の顛末をあらわす計算書です。この計算書の特徴は収入と支出を全て現金預金で行われたものとみなして表示し、実際には当該年度の現金預金の収支ではない期末未収入金、前期末前受金、期末未払金などを資金収支の調節勘定として差引調整計算することで期末現金預金残高を翌年度繰越支払資金として表示する所に特徴があります。

【収入の部】		【単位：千円】	
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	9,760,009	9,737,052	22,957
手数料収入	203,290	213,633	△ 10,343
寄付金収入	133,480	156,974	△ 23,494
補助金収入	2,526,063	2,677,388	△ 151,325
資産売却収入	0	0	0
付随事業・収益事業収入	35,038	35,126	△ 88
受取利息・配当金収入	29,730	30,804	△ 1,074
雑収入	289,548	297,572	△ 8,024
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	1,708,611	1,894,958	△ 186,347
その他の収入	250,176	248,061	2,115
資金収入調整勘定	△ 1,939,967	△ 1,964,315	24,348
前年度繰越支払資金	13,200,465	13,200,465	
収入の部合計	26,196,443	26,527,717	△ 331,274

【支出の部】		【単位：千円】		
科 目	予 算	決 算	差 異	
人件費支出	6,946,553	6,895,724	50,829	
教育研究経費支出	4,182,051	3,876,757	305,294	
管理経費支出	823,425	783,247	40,178	
借入金等利息支出	0	0	0	
借入金等返済支出	0	0	0	
施設関係支出	1,746,338	1,612,577	133,761	
設備関係支出	1,030,897	973,655	57,242	
資産運用支出	500,000	500,000	0	
その他の支出	613,252	638,386	△ 25,134	
予備費	158,736		158,736	
資金支出調整勘定	△ 359,928	△ 553,790	193,862	
翌年度繰越支払資金	10,555,119	11,801,161	△ 1,246,042	
支出の部合計	26,196,443	26,527,717	△ 331,274	

【概 況】

2024年度の決算では、予算に比して収入の部合計が3億3,127万円増の265億2,771万円となりました。これは主に桃山学院大学、桃山学院教育大学および桃山学院高等学校で「経常費補助金収入」が増加したことにより法人全体で「補助金収入」が1億5,132万円増加したこと、桃山学院大学の入学予定者が増加したことにより「前受金収入」が1億8,634万円増加したことが主な要因となります。

支出の部では、「教育研究経費支出」が3億529万円減少しました。これは、経費削減に努めたことに加えて、桃山学院大学の教育研究に係るシステム（SAINT）更新費用の一部が次年度以降に繰り越されたことによるものです。

このように収入増・支出減の結果、翌年度繰越支払資金は12億4,604万円増加の118億116万円となりました。



資金収支における勘定科目について

<資金収入の部>		<資金支出の部>	
学生生徒等納付金収入	授業料・入学金等の在学を条件として義務的にかつ一律に納付される収入	人件費支出	教職員(アルバイト等含む)に支給する本俸、期末手当、その他手当および専任教職員の退職金財団掛金等
手数料収入	入学試験・編転入学試験および各種証明書の発行の際に徴収する収入	教育研究経費支出	教育研究のために要する消耗品費、光熱水費、旅費交通費、奨学費等の経費
寄付金収入	金銭等の寄付による収入	管理経費支出	教育研究経費以外の消耗品費、光熱水費、旅費交通費、広告費等の経費
補助金収入	国や地方公共団体およびこれに準ずる機関から交付される補助金	借入金等利息支出	借入金等の利息の返済にかかる支出
資産売却収入	固定資産等の売却にかかる収入	借入金等返済支出	借入金等の元金の返済にかかる支出
付随事業・収益事業収入	学校法人の補助活動事業、附属事業、受託事業および収益事業などからの収入	施設関係支出	資産運用の目的で取得するものを除く、土地・建物等の取得にかかる支出
受取利息・配当金収入	預金、貸付金、有価証券等の利息や配当金による収入	設備関係支出	機器備品、図書等の取得にかかる支出
雑収入	学校法人に帰属する上記の各収入以外の収入	資産運用支出	各種特定資産への繰入支出、有価証券の取得にかかる支出
借入金等収入	学校債の発行や銀行等からの借入金による収入	その他の支出	貸付金、仮払金等の上記支出以外の支出
前受金収入	翌年度入学の生徒にかかる学生生徒等納付金収入やその他の前受による収入	予備費	予算化されていない突発的な事象に対応するための経費
その他の収入	各種特定資産からの繰入収入や貸付金回収収入、預り金等	資金支出調整勘定	当年度の諸活動に対する支出ではあるが、実際の資金の支出が前年度以前にあったものまたは翌年度以降になるもの
資金収入調整勘定	当年度の諸活動に対する収入ではあるが、実際の資金の収入が前年度以前にあったものまたは翌年度以降になるもの		

2. 活動区分資金収支計算書

活動区分資金収支計算書は資金収支計算書の内容を3つの活動区分(教育活動、施設整備等活動、その他の活動)に区分し、活動区分ごとに資金の流れを明らかにするための資料です。

その中でも、教育活動の区分は、学校法人のいわゆる本業にあたる部分となり、教育活動資金収支差額は、本業での資金の顛末を明らかにしています。

						【単位：千円】										
教育活動による資金収支	科 目		金 額	施設整備等活動による資金収支	科 目		金 額	その他の活動による資金収支	科 目		金 額					
	収入	学生生徒等納付金収入	9,737,052		収入	施設設備寄付金収入	52,104		収入	その他の活動資金収入計	67,695					
		手数料収入	213,633			施設設備補助金収入	14,382			支出	その他の活動資金支出計	80,702				
		特別寄付金収入	60,952			施設整備等活動資金収入計	66,486				差引					
		一般寄付金収入	43,918			施設関係支出	1,612,577					調整勘定等				
		経常費等補助金収入	2,663,006			設備関係支出	973,655						その他の活動資金収支差額			
		付随事業収入	35,126			減価償却引当特定資産繰入支出	500,000							支払資金の増減額 (小計+その他の活動資金収支差額)		
		雑収入	297,572			施設整備等活動資金支出計	3,086,232								前年度繰越支払資金	13,200,465
		教育活動資金収入計	13,051,258			差引	△ 3,019,746									翌年度繰越支払資金
	人件費支出	6,895,724	調整勘定等		△ 93,722											
	教育研究経費支出	3,876,757	施設整備等活動資金収支差額		△ 3,113,468											
	管理経費支出	783,247	小計 (教育活動資金収支差額 + 施設整備等活動資金収支差額)		△ 1,386,293											
	教育活動資金支出計	11,555,728														
	差引	1,495,530														
	調整勘定等	231,645														
教育活動資金収支差額		1,727,175														

【概 況】

活動区分資金収支計算書は、資金収支計算書に記載されている資金収入および資金支出を3つの活動ごとに区分して記載した計算書です。はじめに、学校法人の本業にあたる「教育活動による資金収支」の収支差額は17億2,717万円となりました。

次に「施設整備等活動による資金収支」については、新棟(エレンア館)建設や桃山学院大学に人間教育学部を開設するための既存施設リノベーション工事を実施したことなどにより、施設整備等活動資金収支差額は31億1,346万円の支出超過となりました。

それらの要因に財務活動や預り金の受払い等の経過的な活動を記載する「その他の活動による資金収支」を加算した結果、支払資金の増減額は13億9,930万円の減少となりました。



III. 財務の概要

3. 事業活動収支計算書

事業活動収支計算書は当該会計年度の活動に対応する「事業活動収入」および「事業活動支出」の内容と、基本金組入後の均衡の状態を明らかにする計算書類です。この計算書で用いられる「事業活動収入」とは学校法人の負債とならない収入であり、「事業活動支出」は実際には現金預金の支出を伴わない減価償却額や退職給与引当金繰入額などを含めた金額となります。

【単位：千円】						【単位：千円】						
		科 目	予 算	決 算	差 異			科 目	予 算	決 算	差 異	
教育活動収支	収入の部	事業活動				特別収支	事業活動	収入の部				
		学生生徒等納付金	9,760,009	9,737,052	22,957			資産売却差額	0	0	0	
		手数料	203,290	213,633	△ 10,343			その他の特別収入	53,770	75,441	△ 21,671	
		寄付金	96,590	105,227	△ 8,637			特別収入計	53,770	75,441	△ 21,671	
		経常費等補助金	2,511,681	2,663,006	△ 151,325			支出の部	資産処分差額	201,074	73,313	127,761
		付随事業収入	35,038	35,126	△ 88			その他の特別支出	0	0	0	
		雑収入	243,914	251,939	△ 8,025			特別支出計	201,074	73,313	127,761	
		教育活動収入計	12,850,522	13,005,982	△ 155,460			特別収支差額	△ 147,304	2,128	△ 149,432	
	支出の部	人件費	6,855,765	6,805,066	50,699		予備費	176,952		176,952		
		教育研究経費	5,334,916	5,006,418	328,498		基本金組入前当年度収支差額	△ 604,311	297,449	△ 901,760		
管理経費		969,626	929,432	40,194	基本金組入額合計	△ 2,094,601	△ 1,772,292	△ 322,309				
徴収不能額等		0	550	△ 550	当年度収支差額	△ 2,698,912	△ 1,474,843	△ 1,224,069				
	教育活動支出計	13,160,307	12,741,465	418,842	前年度繰越収支差額	△ 4,962,112	△ 4,962,112	0				
	教育活動収支差額	△ 309,785	264,517	△ 574,302	基本金取崩額	132,656	6,026	126,630				
教育活動外収支	収入の部	事業活動			翌年度繰越収支差額	△ 7,528,368	△ 6,430,929	△ 1,097,439				
		受取利息・配当金	29,730	30,804	△ 1,074	(参考)						
		その他の教育活動外収入	0	0	0	事業活動収入計	12,934,022	13,112,227	△ 178,205			
	支出の部	事業活動			事業活動支出計	13,538,333	12,814,778	723,555				
		借入金等利息	0	0	0							
		その他の教育活動外支出	0	0	0							
		教育活動外支出計	0	0	0							
		教育活動外収支差額	29,730	30,804	△ 1,074							
		経常収支差額	△ 280,055	295,321	△ 575,376							

【概 況】
事業活動収入では、予算額に比して1億7,820万円の増加となりました。これは主に「経常費等補助金」の増加によるものです。「経常費等補助金」の増加については、桃山学院大学、桃山学院教育大学および桃山学院高等学校で「経常費補助金」が1億3,249万円増加したことが主な要因となります。
事業活動支出では、7億2,355万円の減少となりました。これは、経費削減に努めたことに加えて、桃山学院大学の教育研究に係るシステム（SAINT）更新費用の一部が次年度以降に繰り越されたことにより「教育研究経費」が3億2,849万円減少したこと、予備費の未使用額が1億7,695万円あったことが主な要因になります。
このように収入増・支出減の結果、基本金組入前当年度収支差額は2億9,744万円の収入超過となり、事業活動収支差額比率は2.3%となりました。
なお、基本金組入額は、17億7,229万円となり、その主な内容は、図書や備品関係などの恒常的な取得資産の他に新棟（エレノア館）建設や桃山学院大学に人間教育学部を開設するための既存施設リノベーション工事に伴う組入があげられます。

事業活動収支における勘定科目について

＜事業活動収入の部＞		＜事業活動支出の部＞	
学生生徒等納付金	資金収支に同じ	人件費	資金収支の人件費支出から退職金支出を除き、退職給与引当金繰入額を加えた額
手数料	資金収支に同じ	教育研究経費	資金収支の教育研究経費支出に減価償却額を加えた額
寄付金	資金収支に現物寄付を加えた額（施設設備に係る寄付金・現物寄付を除く）	管理経費	資金収支の管理経費支出に減価償却額を加えた額
経常費等補助金	施設設備補助金以外の補助金	減価償却額	教育研究経費、管理経費共通の科目であり固定資産の当年度の減価償却額の合計
付随事業収入	学校法人の補助活動事業、附属事業および受託事業などからの収入	借入金等利息	資金収支に同じ
雑収入	資金収支に同じ	資産処分差額	資産を売却したその代価が帳簿残高を下回った場合、その差額や資産を除却した際の除却額
受取利息・配当金	資金収支に同じ	その他の特別支出	災害損失や過年度修正額（前年度以前の収入または支出の修正額で当年度の支出となるもの）などによる支出
その他の教育活動外収入	収益事業などからの収入	予備費	資金収支に同じ
資産売却差額	資産売却収入が、当該資産の帳簿残高を超えた場合、その超過額	事業活動支出	上記支出の合計額
その他の特別収入	施設設備に係る寄付金・現物寄付、施設設備補助金及び過年度修正額（前年度以前の収入または支出の修正額で当年度の収入となるもの）などによる収入	基本金組入前当年度収支差額	事業活動収入から事業活動支出を差し引いたもの
事業活動収入	学校法人に帰属する負債とならない全ての収入		
基本金組入額	第1号から第4号までの基本金の組入額の合計		



4. 貸借対照表

貸借対照表は当該年度末時点での資産・負債・基本金・繰越収支差額の内容を明確にし、学校法人全体の財政状態を把握することを目的としています。また、学校法人では固定資産が主要な財産の大部分を占めているため、ほとんどの一般企業が採用している「流動性配列法」ではなく、固定資産から配列していく「固定性配列法」を採用しています。

【資産の部】		【単位：千円】		
科 目	2024年度末	2023年度末	増減	
固定資産	75,940,581	74,192,748	1,747,833	
有形固定資産	52,678,747	51,432,362	1,246,385	
土地	23,442,579	23,442,579	0	
建物	21,614,117	20,766,558	847,559	
構築物	544,838	386,867	157,971	
機器備品（教育研究用・管理用）	1,357,850	597,561	760,289	
図書	5,719,356	5,746,427	△ 27,071	
車両	7	194	△ 187	
建設仮勘定	0	492,176	△ 492,176	
特定資産	23,169,219	22,669,219	500,000	
第3号基本金引当特定資産	2,225,606	2,225,606	0	
減価償却引当特定資産	16,740,000	16,240,000	500,000	
将来構想資金引当特定資産	3,613	3,613	0	
その他の引当特定資産	4,200,000	4,200,000	0	
その他の固定資産	92,615	91,167	1,448	
長期貸付金	63,869	62,421	1,448	
その他（施設利用権他）	28,746	28,746	0	
流動資産	12,140,292	13,472,416	△ 1,332,124	
現金預金	11,801,161	13,200,465	△ 1,399,304	
未収入金	237,219	210,567	26,652	
その他（前払金他）	101,911	61,384	40,527	
資産の部合計	88,080,873	87,665,164	415,709	

【負債及び純資産の部】		【単位：千円】		
科 目	2024年度末	2023年度末	増減	
固定負債	3,348,343	3,469,350	△ 121,007	
長期未払金	578,494	654,476	△ 75,982	
退職給与引当金	2,769,849	2,814,874	△ 45,025	
流動負債	3,159,961	2,920,694	239,267	
未払金	593,097	474,444	118,653	
前受金	1,894,958	1,726,492	168,466	
その他（預り金他）	671,906	719,758	△ 47,852	
負債の部合計	6,508,304	6,390,044	118,260	
基本金	88,003,498	86,237,232	1,766,266	
繰越収支差額	△ 6,430,929	△ 4,962,112	△ 1,468,817	
純資産の部合計	81,572,569	81,275,120	297,449	
負債及び純資産の部合計	88,080,873	87,665,164	415,709	
純資産構成比率（純資産／総資産）	92.6%	92.7%		

【概 況】

有形固定資産では、法人全体で25億8,623万円の施設・設備投資を実施したことにより、有形固定資産全体で12億4,638万円の増加となりました。特定資産では、減価償却引当特定資産を5億円繰入したことにより、前年度から5億円増の231億6,921万円を計上することとなりました。その結果、固定資産は17億4,783万円増加し、759億4,058万円となりました。

流動資産では、施設・設備投資を実施したことにより、現金預金が13億9,930万円減少し、流動資産全体では13億3,212万円減少の121億4,029万円を計上しました。その結果、資産の部合計は4億1,570万円増加し、880億8,087万円となりました。

負債の部では、固定負債における長期未払金（ファイナンスリース資産）が減少したものの、流動負債において、未払金が増加したことにより、負債合計で1億1,826万円の増加となりました。

結果、純資産額は2023年度末に比して、2億9,744万円増加の815億7,256万円となり、純資産構成比率は92.6%となりました。

貸借対照表における勘定科目について

有形固定資産	土地・建物・構築物・機器備品・図書等	固定負債	長期借入金、退職給与引当金、長期未払金等
特定資産	各種特定資産	流動負債	短期借入金、未払金、前受金、預り金等
その他の固定資産	長期貸付金、長期に保有する有価証券等	基本金	第1号～第4号基本金
流動資産	現金預金、短期貸付金、前払金等	繰越収支差額	当年度末における収支差額の累積額



Ⅲ. 財務の概要

5. 財務状況の推移

(1) 連続資金収支計算書 (2019年度～2024年度)

【法人全体】

【単位：千円】

科 目	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
資金収入						
学生生徒等納付金収入	8,572,638	8,668,969	9,153,867	9,429,704	9,590,531	9,737,052
手数料収入	315,835	239,136	234,420	192,672	203,973	213,633
寄付金収入	78,919	170,936	47,391	61,302	70,182	156,974
補助金収入	1,609,088	2,117,466	2,346,961	2,340,059	2,256,243	2,677,388
資産売却収入	512	0	0	0	0	0
付随事業・収益事業収入	84,909	12,313	21,234	36,249	32,738	35,126
受取利息・配当金収入	23,283	18,754	15,681	18,953	26,455	30,804
雑収入	267,151	297,672	269,501	121,743	298,982	297,572
借入金等収入	0	0	0	0	0	0
前受金収入	1,476,207	1,796,126	1,740,132	1,740,231	1,726,492	1,894,958
その他の収入	584,048	1,536,071	520,915	266,529	1,198,621	248,061
資金収入調整勘定	△ 1,729,681	△ 1,758,679	△ 1,990,910	△ 1,826,960	△ 1,951,402	△ 1,964,315
前年度繰越支払資金	10,178,176	8,682,562	8,690,214	9,942,454	11,360,268	13,200,465
収入の部合計	21,461,083	21,781,325	21,049,407	22,322,936	24,813,084	26,527,717
資金支出						
人件費支出	6,363,173	6,416,043	6,570,163	6,449,094	6,753,707	6,895,724
教育研究経費支出	2,572,138	3,253,655	3,109,825	3,259,493	3,415,539	3,876,757
管理経費支出	803,235	792,226	827,209	675,985	736,113	783,247
借入金等利息支出	0	0	0	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0	0	0	0
施設関係支出	2,127,014	2,253,798	130,660	66,430	626,345	1,612,577
設備関係支出	292,603	479,956	120,706	141,892	77,646	973,655
資産運用支出	500,000	500,000	200,000	200,000	5,000	500,000
その他の支出	435,567	338,956	464,158	502,303	451,693	638,386
資金支出調整勘定	△ 315,208	△ 943,524	△ 315,768	△ 332,530	△ 453,423	△ 553,790
翌年度繰越支払資金	8,682,562	8,690,214	9,942,454	11,360,268	13,200,465	11,801,161
支出の部合計	21,461,083	21,781,325	21,049,407	22,322,936	24,813,084	26,527,717



(2) 連続活動区分資金収支計算書 (2019年度～2024年度)

【法人全体】

【単位：千円】

科 目		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
教育活動による資金収支	収入						
	学生生徒等納付金収入	8,572,638	8,668,969	9,153,867	9,429,704	9,590,531	9,737,052
	手数料収入	315,835	239,136	234,420	192,672	203,973	213,633
	特別寄付金収入	20,925	55,376	26,293	41,496	45,156	60,952
	一般寄付金収入	45,947	61,236	14,678	12,228	12,053	43,918
	経常費等補助金収入	1,559,899	2,050,547	2,332,174	2,321,683	2,256,243	2,663,006
	付随事業収入	84,909	12,313	21,234	36,249	32,738	35,126
	雑収入	267,151	297,567	269,241	121,743	298,982	297,572
	教育活動資金収入計	10,867,303	11,385,144	12,051,907	12,155,774	12,439,677	13,051,258
	支出						
	人件費支出	6,363,173	6,416,043	6,570,163	6,449,094	6,753,707	6,895,724
	教育研究経費支出	2,572,138	3,253,655	3,109,825	3,259,493	3,415,539	3,876,757
	管理経費支出	803,001	785,357	827,209	675,755	736,113	783,247
	教育活動資金支出計	9,738,313	10,455,055	10,507,196	10,384,342	10,905,359	11,555,728
差引		1,128,990	930,089	1,544,711	1,771,432	1,534,318	1,495,530
調整勘定等		△ 112,159	298,703	△ 13,406	105,638	△ 39,154	231,645
教育活動資金収支差額		1,016,831	1,228,791	1,531,305	1,877,070	1,495,164	1,727,175
施設整備等活動による資金収支	収入						
	施設設備寄付金収入	12,047	54,324	6,420	7,578	12,973	52,104
	施設設備補助金収入	49,189	66,919	14,787	18,376	0	14,382
	施設設備売却収入	512	0	0	0	0	0
	減価償却引当特定資産取崩収入	0	0	0	0	1,000,000	0
	将来構想資金引当特定資産取崩収入	0	630,404	0	0	0	0
	施設整備等活動資金収入計	61,748	751,647	21,207	25,954	1,012,973	66,486
	支出						
	施設関係支出	2,127,014	2,253,798	130,660	66,430	626,345	1,612,577
	設備関係支出	292,603	479,956	120,706	141,892	77,646	973,655
	減価償却引当特定資産繰入支出	500,000	500,000	200,000	200,000	0	500,000
	施設整備等活動資金支出計	2,919,617	3,233,754	451,366	408,322	703,991	3,086,232
差引		△ 2,857,869	△ 2,482,107	△ 430,160	△ 382,368	308,982	△ 3,019,746
調整勘定等		△ 22,566	597,908	△ 25,855	△ 76,430	△ 55,414	△ 93,722
施設整備等活動資金収支差額		△ 2,880,435	△ 1,884,199	△ 456,015	△ 458,798	253,568	△ 3,113,468
小計 (教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)		△ 1,863,604	△ 655,407	1,075,291	1,418,272	1,748,731	△ 1,386,293
その他の活動による資金収支	収入						
	その他の活動資金収入計	390,463	692,880	256,184	88,898	138,248	67,695
	支出						
	その他の活動資金支出計	22,473	29,670	79,453	89,125	46,950	80,702
	差引	367,990	663,210	176,731	△ 227	91,298	△ 13,007
調整勘定等		0	△ 150	218	△ 231	167	△ 4
その他の活動資金収支差額		367,990	663,060	176,949	△ 458	91,465	△ 13,011
支払資金の増減額 (小計+その他の活動資金収支差額)		△ 1,495,614	7,653	1,252,240	1,417,814	1,840,197	△ 1,399,304
前年度繰越支払資金		10,178,176	8,682,562	8,690,214	9,942,454	11,360,268	13,200,465
翌年度繰越支払資金		8,682,562	8,690,214	9,942,454	11,360,268	13,200,465	11,801,161



Ⅲ. 財務の概要

(3) 連続事業活動収支計算書 (2019年度～2024年度)

【法人全体】

【単位：千円】

科 目		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	8,572,638	8,668,969	9,153,867	9,429,704	9,590,531	9,737,052
		手数料	315,835	239,136	234,420	192,672	203,973	213,633
		寄付金	67,622	117,257	41,862	54,378	57,508	105,227
		経常費等補助金	1,559,899	2,050,547	2,332,174	2,321,683	2,256,243	2,663,006
		付随事業収入	84,909	12,313	21,234	36,249	32,738	35,126
		雑収入	267,151	240,405	253,140	118,324	237,568	251,939
		教育活動収入計	10,868,054	11,328,627	12,036,696	12,153,010	12,378,561	13,005,982
	事業活動支出の部	人件費	6,378,394	6,280,357	6,522,202	6,504,717	6,690,188	6,805,066
		(内、退職給与引当金繰入額)	(295,881)	(251,050)	(280,963)	(180,604)	(324,141)	(312,438)
		教育研究経費	3,692,208	4,419,676	4,378,258	4,557,736	4,600,632	5,006,418
		(内、減価償却額)	(1,119,318)	(1,165,376)	(1,267,544)	(1,297,742)	(1,184,793)	(1,129,304)
		管理経費	909,245	919,191	986,798	845,272	902,826	929,432
		(内、減価償却額)	(106,243)	(133,835)	(159,589)	(169,363)	(166,713)	(146,185)
		徴収不能額等	10	30	0	0	120	550
	教育活動支出計	10,979,857	11,619,254	11,887,259	11,907,724	12,193,766	12,741,465	
教育活動収支差額		△ 111,802	△ 290,627	149,437	245,286	184,796	264,517	
教育活動外収支	収入の部	受取利息・配当金	23,283	18,754	15,681	18,953	26,455	30,804
		その他の教育活動外収入	0	0	0	0	0	0
		教育活動外収入計	23,283	18,754	15,681	18,953	26,455	30,804
	支出の部	借入金等利息	0	0	0	0	0	0
		その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0	0
		教育活動外支出計	0	0	0	0	0	0
教育活動外収支差額		23,283	18,754	15,681	18,953	26,455	30,804	
経常収支差額		△ 88,520	△ 271,874	165,119	264,239	211,251	295,321	
特別収支	収入の部	資産売却差額	494	0	0	0	0	0
		その他の特別収入	65,593	219,453	29,608	34,512	20,053	75,441
		特別収入計	66,087	219,453	29,608	34,512	20,053	75,441
	支出の部	資産処分差額	164,062	101,569	54,759	52,896	94,231	73,313
		その他の特別支出	233	6,870	0	234,931	0	0
		特別支出計	164,296	108,438	54,759	287,827	94,231	73,313
特別収支差額		△ 98,209	111,015	△ 25,150	△ 253,315	△ 74,178	2,128	
基本金組入前当年度収支差額		△ 186,728	△ 160,859	139,968	10,924	137,073	297,449	
基本金組入額合計		△ 1,992,883	△ 1,827,081	△ 139,052	△ 45,154	△ 498,649	△ 1,772,292	
当年度収支差額		△ 2,179,612	△ 1,987,940	916	△ 34,230	△ 361,576	△ 1,474,843	
前年度繰越収支差額		△ 454,046	△ 2,633,515	△ 4,621,455	△ 4,612,887	△ 4,600,556	△ 4,962,112	
基本金取崩額		142	0	7,652	46,561	20	6,026	
翌年度繰越収支差額		△ 2,633,515	△ 4,621,455	△ 4,612,887	△ 4,600,556	△ 4,962,112	△ 6,430,929	
(参考)								
事業活動収入計		10,957,424	11,566,834	12,081,986	12,206,476	12,425,070	13,112,227	
事業活動支出計		11,144,152	11,727,693	11,942,018	12,195,551	12,287,997	12,814,778	

【概 況】

2021年度から桃山学院大学と桃山学院教育大学で認められた入学定員増に伴い学生生徒等納付金は増加しています。また、5年目を迎えた「高等教育の修学支援新制度」の影響もあり経常費等補助金は制度開始前に比して増加しています。同様に同制度の実施に伴い奨学費が増加し教育研究経費も増加傾向にあります。

2024年度は、新棟（エレノア館）建設や既存施設のリノベーションに係る用品購入など2億1,635万円の経費計上に加え、大規模な図書整理が実施されるなど、資産処分差額に7,331万円を計上しましたが、安定した収入増もあり、基本金組入前当年度収支差額は2億9,744万円の収入超過となりました。なお、当年度の収支状況を示す事業活動収支差額比率は2.3%となりました。（財務比率については、『財務比率の推移』を参照）



(4) 連続貸借対照表 (2019年度～2024年度)

【単位：千円】

科 目	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
資産の部						
固定資産	77,676,174	78,551,103	77,317,381	75,946,606	74,192,748	75,940,581
有形固定資産	53,496,154	54,927,233	53,704,850	52,167,028	51,432,362	52,678,747
土地	23,442,579	23,442,579	23,442,579	23,442,579	23,442,579	23,442,579
建物	20,101,828	23,856,935	22,985,989	21,712,160	20,766,558	21,614,117
構築物	491,045	555,614	483,004	429,152	386,867	544,838
備品（教育研究用・管理用）	1,118,356	1,240,939	983,757	773,265	597,561	1,357,850
図書	5,704,946	5,829,073	5,808,167	5,809,097	5,746,427	5,719,356
車両	2,832	2,094	1,355	775	194	7
建設仮勘定	2,634,568	0	0	0	492,176	0
特定資産	23,999,623	23,469,219	23,469,219	23,669,219	22,669,219	23,169,219
第2号基本金引当特定資産	0	0	0	0	0	0
第3号基本金引当特定資産	2,225,606	2,225,606	2,225,606	2,225,606	2,225,606	2,225,606
奨学資金引当特定資産	1,600,000	1,300,000	1,100,000	1,100,000	1,100,000	1,100,000
退職給与引当特定資産	2,900,000	2,800,000	2,800,000	2,800,000	2,800,000	2,800,000
減価償却引当特定資産	16,340,000	16,840,000	17,040,000	17,240,000	16,240,000	16,740,000
危機管理対策資金引当特定資産	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000
将来構想資金引当特定資産	634,017	3,613	3,613	3,613	3,613	3,613
その他の固定資産	180,398	154,651	143,312	110,359	91,167	92,615
長期貸付金	112,015	101,446	90,107	86,592	62,421	63,869
その他（施設利用権他）	68,383	53,206	53,206	23,766	28,746	28,746
流動資産	8,992,291	9,042,144	10,206,996	11,524,750	13,472,416	12,140,292
現金預金	8,682,562	8,690,214	9,942,454	11,360,268	13,200,465	11,801,161
未収入金	231,043	281,868	195,980	86,224	210,567	237,219
短期貸付金	26,154	19,392	14,731	13,397	8,865	9,107
その他（前払金他）	52,533	50,669	53,831	64,861	52,519	92,804
資産の部合計	86,668,465	87,593,247	87,524,377	87,471,356	87,665,164	88,080,873
負債の部						
固定負債	3,188,109	3,673,082	3,564,467	3,545,773	3,469,350	3,348,343
長期借入金	0	0	0	0	0	0
長期未払金	320,970	884,467	806,631	728,795	654,476	578,494
退職給与引当金	2,867,140	2,788,615	2,757,836	2,816,978	2,814,874	2,769,849
流動負債	2,332,343	2,933,011	2,832,788	2,787,537	2,920,694	3,159,961
短期借入金	0	0	0	0	0	0
未払金	282,659	347,181	360,110	372,837	474,444	593,097
前受金	1,476,207	1,796,126	1,740,132	1,740,231	1,726,492	1,894,958
その他（預り金関係他）	573,477	789,705	732,545	674,469	719,758	671,906
負債の部合計	5,520,452	6,606,093	6,397,255	6,333,310	6,390,044	6,508,304
純資産の部						
基本金	83,781,528	85,608,609	85,740,009	85,738,603	86,237,232	88,003,498
第1号基本金	80,701,948	82,529,029	82,660,429	82,659,023	83,157,652	84,923,918
第2号基本金	0	0	0	0	0	0
第3号基本金	2,225,606	2,225,606	2,225,606	2,225,606	2,225,606	2,225,606
第4号基本金	853,973	853,973	853,973	853,973	853,973	853,973
繰越収支差額	△ 2,633,515	△ 4,621,455	△ 4,612,887	△ 4,600,556	△ 4,962,112	△ 6,430,929
純資産の部合計	81,148,012	80,987,154	81,127,122	81,138,046	81,275,120	81,572,569
負債及び純資産の部合計	86,668,465	87,593,247	87,524,377	87,471,356	87,665,164	88,080,873

【概 況】

本学院は借入金ゼロの財政状態であり、長期的な財務の健全性を示す純資産構成比率も2024年度は92.6%と高く、2023年度の大学法人の全国平均（医歯系法人を除く）88.2%と比べても安定した財務基盤であることを示しています。また、短期的な財務の健全性を示す流動比率も同全国平均の267.1%よりも良好な384.2%となっており、長期・短期ともに安定した財務状態であるといえます。（財務比率については、『財務比率の推移』を参照）



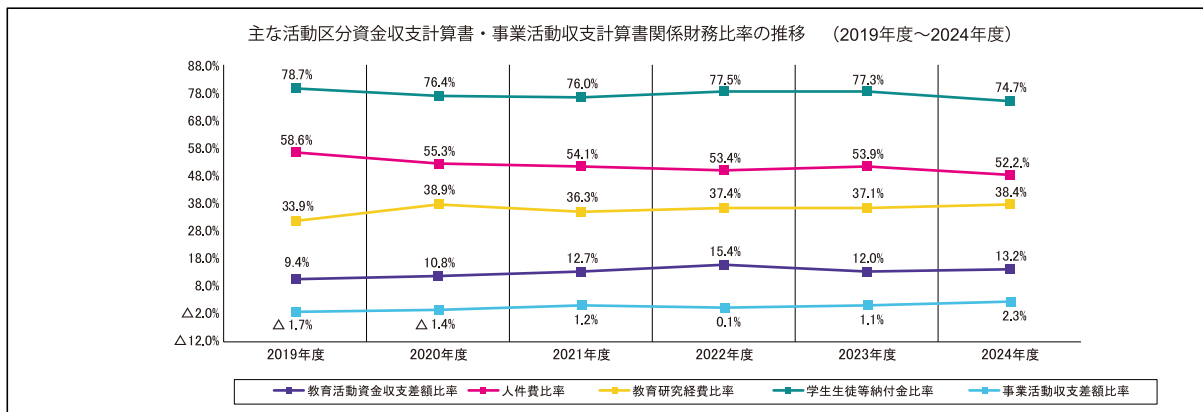
III. 財務の概要

6. 財務比率の推移

(1) 活動区分資金収支計算書・事業活動収支計算書関係財務比率

比 率	算 式	評価	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
1 教育活動資金収支差額比率	$\frac{\text{教育活動資金収支差額}}{\text{教育活動資金収入計}}$	↑	9.4%	10.8%	12.7%	15.4%	12.0%	13.2%
2 人件費比率	$\frac{\text{人 件 費}}{\text{経 常 収 入}}$	↓	58.6%	55.3%	54.1%	53.4%	53.9%	52.2%
3 教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経 常 収 入}}$	↑	33.9%	38.9%	36.3%	37.4%	37.1%	38.4%
4 管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経 常 収 入}}$	↓	8.3%	8.1%	8.2%	6.9%	7.3%	7.1%
5 学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{経 常 収 入}}$	～	78.7%	76.4%	76.0%	77.5%	77.3%	74.7%
6 事業活動収支差額比率	$\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$	↑	△ 1.7%	△ 1.4%	1.2%	0.1%	1.1%	2.3%
7 経常収支差額比率	$\frac{\text{経常収支差額}}{\text{経 常 収 入}}$	↑	△ 0.8%	△ 2.4%	1.4%	2.2%	1.7%	2.3%

<注> 評価について ↑:高い値が良い ↓:低い値が良い ～:どちらとも言えない

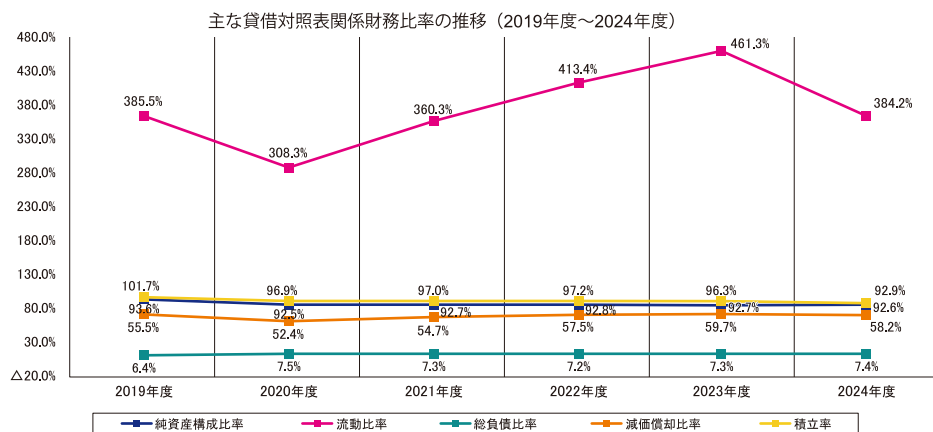


(2) 貸借対照表関係財務比率

比 率	算 式	評価	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
1 純資産構成比率	$\frac{\text{純 資 産}}{\text{負債+純資産}}$	↑	93.6%	92.5%	92.7%	92.8%	92.7%	92.6%
2 固定比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純 資 産}}$	↓	95.7%	97.0%	95.3%	93.6%	91.3%	93.1%
3 流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	↑	385.5%	308.3%	360.3%	413.4%	461.3%	384.2%
4 総負債比率	$\frac{\text{総 負 債}}{\text{総 資 産}}$	↓	6.4%	7.5%	7.3%	7.2%	7.3%	7.4%
5 減価償却比率	$\frac{\text{減価償却累計額 (図書を除く)}}{\text{減価償却資産取得価格 (図書を除く)}}$	～	55.5%	52.4%	54.7%	57.5%	59.7%	58.2%
6 前受金保有率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{前 受 金}}$	↑	588.2%	483.8%	571.4%	652.8%	764.6%	622.8%
7 基本金比率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	↑	100.0%	99.3%	99.3%	99.4%	99.4%	99.5%
8 積立率	$\frac{\text{運用資産}}{\text{要積立額}}$	↑	101.7%	96.9%	97.0%	97.2%	96.3%	92.9%
9 運用資産余裕比率 (年)	$\frac{\text{運用資産-外部負債}}{\text{事業活動支出}}$	↑	2.8	2.6	2.6	2.7	2.8	2.6

<注> 評価について ↑:高い値が良い ↓:低い値が良い ～:どちらとも言えない

「運用資産」=現金預金+特定資産+有価証券 「外部負債」=総負債-(退職給与引当金+前受金) 「要積立額」=減価償却累計額+退職給与引当金+第2号基本金+第3号基本金



7. その他

(1) 寄付金の状況

2024年度の寄付金活動は、皆様からの温かいご支援により、総額166,286千円のご寄付がありました。本学院の寄付金活動に対して、皆様の深いご理解とご協力に感謝し、厚く御礼申し上げます。ご支援いただきました寄付につきましては、ご指定いただいた目的に応じて活用させていただきました。

引き続き、本学院の生徒・学生支援および教育研究環境整備のために、寄付金活動を進めてまいりたいと考えています。今後ともご支援賜りますようお願い申し上げます

(ア) 2024年度寄付金受け入れ状況について

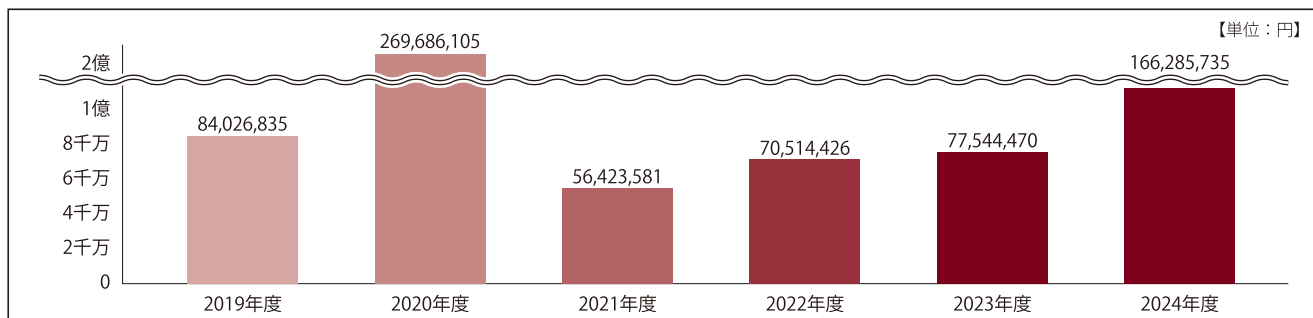
【単位：円】

分 類	寄付項目	金 額
一般寄付	教育振興資金	43,917,657
特別寄付	桃山学院和泉キャンパス新校舎建設寄付金	41,060,000
	桃山Go Green Project活動に関する支援寄付金	239,000
	桃山学院大学 スタートアップ支援寄付金	126,000
	桃山学院 学生・生徒団体等サポート寄付金	2,634,000
	桃山学院 社会貢献活動支援寄付金	1,042,000
	桃山学院 奨学寄付金	757,268
	その他の 使途指定 寄付金	10,498,600 課外活動関係等 11,333,773 教育・研究関係等 45,365,922
現物寄付	図書等	9,311,515



エレノア館

(イ) 寄付金受け入れ状況の推移 (2019年度～2024年度)



(ウ) 本学院へのご支援に基づく活動の概況について

①桃山学院 大学・教育大学・高等学校・中学校 教育振興資金…………… 337 件

桃山学院大学 19,741,657 円／ 桃山学院教育大学 86,000 円／ 桃山学院高等学校 20,225,000 円／ 桃山学院中学校 3,865,000 円
各学校の施設整備や既存校舎改修などの教育環境整備等の活動を実施しました。



桃山学院大学



桃山学院教育大学



桃山学院高等学校



桃山学院中学校

②桃山学院和泉キャンパス新校舎建設寄付金…………… 20 件 41,060,000 円

2024年11月末に新校舎「エレノア館」が竣工しました。

③桃山 Go Green Project 活動に関する支援寄付金…………… 2 件 239,000 円

使い捨てカイロを再利用した水質浄化等、環境保全ボランティア活動を実施しました。

④桃山学院 学生・生徒団体等サポート寄付金…………… 74 件 2,634,000 円

体育会系の団体としては、アメリカンフットボール部、ゴルフ部、硬式野球部、ハンドボール部、水泳部、アーチェリー部、ラグビー部、文化系の団体としては、吹奏楽部およびよさこい連 真輝 -SANAGI- に対して ご寄付を賜り、各団体において活動に必要な器具や消耗品の購入等を実施しました。

⑤桃山学院 社会貢献活動支援寄付金…………… 17 件 1,042,000 円

国際ワークキャンプ、インド異文化・ボランティア体験セミナーの活動等を実施しました。

⑥桃山学院 奨学寄付金…………… 41 件 757,268 円

成績優秀者や交換留学生支援等のために奨学金の支給を実施しました。



III. 財務の概要

(2) 補助金の状況

経常費補助金など恒常的に交付される補助金の他、以下の施設設備補助金が交付されました。

【単位：円】

補助金の種類	金 額	単 位
令和6年度授業料等減免費交付金	690,860,100	桃山学院大学
	110,946,700	桃山学院教育大学
令和6年度私立学校施設整備費補助金	14,382,000	桃山学院大学
令和6年度大学・高専成長分野転換支援基金助成金	21,372,000	桃山学院大学
若手・女性研究者奨励金	800,000	桃山学院大学

(3) 有価証券の状況

(ア) 総括表

【単位：円】

種 類	当年度（令和7年3月31日）		
	貸借対照表計上額	時 価	差 額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	200,000,000	200,410,000	410,000
（うち満期保有目的の債券）	（ 200,000,000 ）	（ 200,410,000 ）	（ 410,000 ）
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	8,006,094,740	7,427,931,541	△578,163,199
（うち満期保有目的の債券）	（ 8,006,094,740 ）	（ 7,427,931,541 ）	（ △578,163,199 ）
合計	8,206,094,740	7,628,341,541	△577,753,199
（うち満期保有目的の債券）	（ 8,206,094,740 ）	（ 7,628,341,541 ）	（ △ 577,753,199 ）
時価のない有価証券	24,000,000		
有価証券合計	8,230,094,740		

(イ) 明細表

【単位：円】

種 類	当年度（令和7年3月31日）		
	貸借対照表計上額	時 価	差 額
債券	8,206,094,740	7,628,341,541	△ 577,753,199
株式	—	—	—
投資信託	—	—	—
貸付信託	—	—	—
合計	8,206,094,740	7,628,341,541	△ 577,753,199
時価のない有価証券	24,000,000		
有価証券合計	8,230,094,740		

(4) 借入金の状況

借入金はありません。

(5) 学校債の状況

学校債はありません。

(6) 収益事業の状況

収益事業は行っていません。

(7) 関連当事者との取引の状況

(ア) 関連当事者との取引

関連当事者との取引の内容は、次のとおりです。

【単位：円】

属性	役員、法人等の名称	住所	資本金又は出資金	事業内容又は職業	議決権の所有割合	関係内容		取引の内容	取引金額	勘定科目	期末残高
						役員等の兼任等	事実上の関係				
理事	山田 陽彦	—	—	—	—	—	法務 アドバイス	法務アドバイス料の支払（注1）	1,980,000	管.支払手数料支出	—

取引条件及び取引条件の決定方針等

（注1）学内各種委員会等の法務アドバイス料については、専門性に加え、顧問弁護士との過去の契約金額実績を勘案した上で決定しています。

(イ) 学校法人の出資による会社に係る事項

当学校法人の出資割合が総出資額の2分の1以上である会社の状況は次のとおりです。

名称	株式会社アンデレパートナーズ			
事業内容	建物内外の保守管理・清掃業務、警備業、食堂運営及び情報処理の運用管理支援等			
出資金	9,000,000円	90株		
学校法人の出資状況	9,000,000円	90株	総出資金額に占める割合 100%	
出資の状況	平成28年3月15日	9,000,000円	90株	
当期中に学校法人が受け入れた配当及び寄附の金額並びに学校法人との資金、取引等の状況	【単位：円】			
	当該会社からの受入額	特別寄付金 賃借料等 出向者給与	20,000,000 4,125,560 6,000,000	
	当該会社への支払額	業務委託費等	777,765,902	
	【単位：円】			
		期首残高	資金支出等	資金収入等 期末残高
	当該会社への出資金等	9,000,000	0	0 9,000,000
保証債務	当該会社への未払金	65,231,714	65,231,714	66,518,694 66,518,694
	当該会社への未収入金	75,100	73,200	75,100 73,200
保証債務	学校法人は当該会社について債務保証を行っていない。			

(8) 学校法人間の財務取引

学校法人間取引は行っておりません。

8. 経営状況の分析、経営上の成果と課題、今後の方針・対応方策

本学院は連続貸借対照表の概況でも述べたとおり、ストックの面で安定した経営状況であると言えます。一方、フローの面でも2021年度からの桃山学院大学・桃山学院教育大学の入学定員数増により、学生生徒等納付金が増加し、2024年度の事業活動収支差額比率は2.3%を計上するなど、安定した収支状況となります。

2025年度は桃山学院大学と桃山学院教育大学の大学統合の初年度となり、統合のメリットを活かした効率的な大学運営による経費削減だけでなく、補助金や寄付金など外部資金の獲得などに取り組むことで、さらに安定した財務基盤の確立に繋げてまいります。

9. 定量的な経営判断指標に基づく経営状態の区分（法人全体）

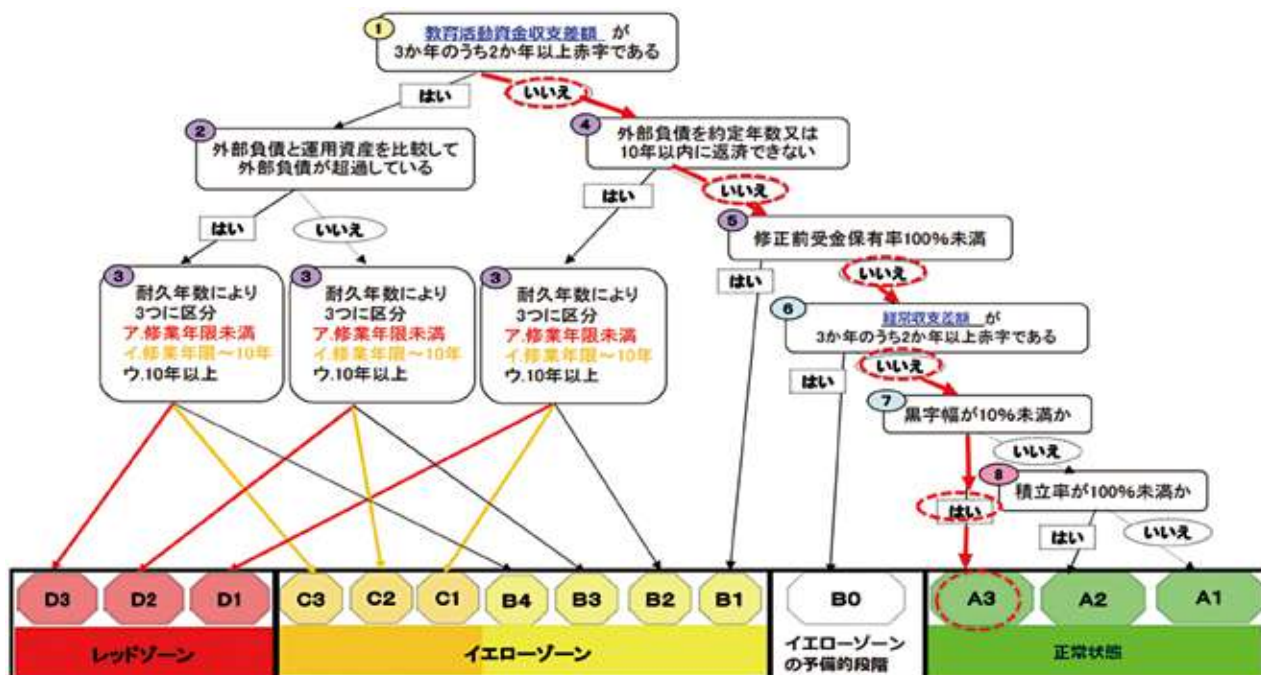
以下のフローチャートは、私立学校の経営状態を把握・分析するための資料として、日本私立学校振興・共済事業団が提供する「定量的な経営判断指標に基づく経営状態の区分」です。

（引用：https://www.shigaku.go.jp/files/s_center_shihyo27-1.pdf）

これによると、2024年度の本学の経営状態は2023年度に続き「A3」に区分され、正常な経営状態であることが分かります。

（1）2024年度の経営状態区分について

2024年度の本学院のフローチャートを赤色矢印で示しています。



（2）2022～2024年度の経営判断指標と経営状態区分について

過去3年間の経営判断指標と経営状態区分は以下の通りです。

【金額単位：百万円】

経営判断指標とその基準	2022年度	2023年度	2024年度
①教育活動資金収支差額 ※1 (3か年のうち2か年以上赤字である)	1,877 いいえ	1,495 いいえ	1,727 いいえ
④外部負債 ※2 (約定年数又は10年以内に返済できない)	1,102 いいえ	1,129 いいえ	1,172 いいえ
⑤修正前受金保有率 ※3 (100%未満)	2014% いいえ	2079% いいえ	1846% いいえ
⑥経常収支差額 ※4 (3か年のうち2か年以上赤字である)	264 いいえ	211 いいえ	295 いいえ
⑦黒字幅 (経常収支差額が10%未満か))	2.2% はい	1.7% はい	2.3% はい
区 分	A3	A3	A3

※1 教育活動資金収支差額＝活動区分資金収支計算書の「教育活動による資金収支」区分の収支差額

※2 外部負債＝借入金＋学校債＋未払金＋手形債務

※3 修正前受金保有率＝運用資産（現金預金＋特定資産＋有価証券）÷前受金

※4 経常収支差額＝経常収入（教育活動収入計＋教育活動外収入計）－経常支出（教育活動支出計＋教育活動外支出計）

※5 積立率＝運用資産 ÷ 要積立額（減価償却累計額＋退職給付引当金＋2号基本金＋3号基本金）

Ⅳ. データで見る桃山学院

1. 入学定員・収容定員・入学者数・在籍者数 (2024年5月1日現在)

学 部	学 科	入学定員(名)	収容定員(名)	1年次	2年次	3年次	4年次	入学者数	編・転入学者数	在籍者数
桃山学院大学	国際教養 英語・国際文化	275	1,100	275	275	275	275	283	6	1,030
	社会 社会	260	1,040	260	260	260	260	238	2	1,128
	社会 ソーシャルデザイン	100	400	100	100	100	100	102	0	385
	法 法律	200	800	200	200	200	200	214	1	842
	経済 経済	360	1,440	360	360	360	360	358	1	1,517
	経営 経営	295	1,180	295	295	295	295	294	5	1,275
	ビジネスデザイン ビジネスデザイン	200	800	200	200	200	200	217	1	795
	計	1,690	6,760					1,706	16	6,972
交換留学生		—	—	—				—	—	29

※2021年度 ビジネスデザイン学部ビジネスデザイン学科設置(経営学部ビジネスデザイン学科より改組)

※2022年度 社会学部学科名称変更(社会福祉学科→ソーシャルデザイン学科)(4年次以上は社会福祉学科)

研究科	専 攻	入学定員(名)	収容定員(名)	入学者数	在籍者数
桃山学院大学 大学院 博士前期課程	文学 言語・文化	10	20	1	5
	社会学 応用社会学	10	20	11	17
	経済学 応用経済学	10	20	3	8
	経営学 経営学	10	20	6	11
	計	40	80	21	41
	交換留学生	—	—	—	5
研究生		—	—	—	11
桃山学院大学 大学院 博士後期課程	文学 比較文化学	4	12	0	0
	社会学 応用社会学	3	9	1	6
	経済学 応用経済学	3	9	1	7
	経営学 経営学	3	9	0	1
	計	13	39	2	14
	研究生	—	—	—	0

学 部	学 科	入学定員(名)	収容定員(名)	1年次	2年次	3年次	4年次	入学者数	編・転入学者数	在籍者数
桃山学院教育大学	人間教育 人間教育	270	1,080	270	270	270	270	284	0	989

課程・学科	入学定員(名)	収容定員(名)	入学者数	在籍者数
桃山学院中学校	120	360	126	369
桃山学院高等学校	760	2,280	690	2,044

2. 収容定員充足率 (毎年度5月1日現在)

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
桃山学院大学	104.2%	104.4%	104.6%	103.9%	103.1%
桃山学院大学大学院/博士前期課程	48.8%	56.3%	67.5%	55.0%	51.3%
桃山学院大学大学院/博士後期課程	33.3%	48.7%	56.4%	46.2%	35.9%
桃山学院教育大学	95.1%	97.7%	95.2%	89.8%	91.6%

3. 入試状況 (2021年度～2025年度入学)

■ 桃山学院大学 <全制度合計(編・転入学除く)>

学部	学科	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
国際 教養	英語・ 国際文化	募集人員	275	275	275	275
		志願者数	2,124	1,700	1,252	1,179
		受験者数	2,076	1,645	1,209	1,156
		合格者数	1,153	1,254	1,105	950
		倍 率	1.8	1.3	1.1	1.2
		入学者数	284	237	242	283
		募集人員	260	260	260	260
		志願者数	2,622	2,859	1,673	1,792
社会	社会	受験者数	2,557	2,805	1,636	1,757
		合格者数	1,118	1,135	1,086	610
		倍 率	2.3	2.5	1.5	2.9
		入学者数	295	285	297	238
	ソーシャル デザイン ※1	募集人員	100	100	100	100
		志願者数	525	377	452	579
		受験者数	505	350	437	560
		合格者数	410	303	376	330
		倍 率	1.2	1.2	1.2	1.7
		入学者数	101	88	94	102
	法	募集人員	200	200	200	200
		志願者数	1,646	1,901	1,203	1,222
		受験者数	1,613	1,856	1,178	1,184
		合格者数	1,000	1,134	1,030	796
		倍 率	1.6	1.6	1.1	1.5
		入学者数	199	209	209	214
	経済	募集人員	360	360	360	360
		志願者数	3,788	3,550	2,559	2,372
		受験者数	3,696	3,475	2,503	2,306
		合格者数	1,798	1,661	1,534	947
		倍 率	2.1	2.1	1.6	2.4
		入学者数	400	377	378	358
経営	経営	募集人員	295	295	295	295
		志願者数	3,354	3,110	1,995	1,909
		受験者数	3,265	3,058	1,963	1,869
		合格者数	1,154	926	889	842
		倍 率	2.8	3.3	2.2	2.2
		入学者数	325	318	359	294
	ビジネス デザイン	募集人員	200	200	200	200
		志願者数	1,623	899	769	1,121
		受験者数	1,566	872	749	1,015
		合格者数	975	763	655	798
		倍 率	1.6	1.1	1.1	1.3
		入学者数	221	202	173	217
	小学校 教育	募集人員	—	—	—	—
		志願者数	—	—	—	—
		受験者数	—	—	—	—
		合格者数	—	—	—	—
		倍 率	—	—	—	—
		入学者数	—	—	—	—
	人間 教育・ 人間 教育 ※2	募集人員	—	—	—	—
		志願者数	—	—	—	—
		受験者数	—	—	—	—
		合格者数	—	—	—	—
		倍 率	—	—	—	—
		入学者数	—	—	—	—
	健康・ スポーツ 教育	募集人員	—	—	—	—
		志願者数	—	—	—	—
		受験者数	—	—	—	—
		合格者数	—	—	—	—
		倍 率	—	—	—	—
		入学者数	—	—	—	—
	合計	募集人員	1,690	1,690	1,690	1,690
		志願者数	15,682	14,396	9,903	10,174
		受験者数	15,278	14,061	9,675	9,847
		合格者数	7,608	7,176	6,675	5,273
		倍 率	2.0	2.0	1.4	1.9
		入学者数	1,825	1,716	1,752	1,706

※1 2022年度 社会福祉学科より名称変更。

※2 2025年度 人間教育学部人間教育学科(小学校教育課程、幼児教育課程、健康・スポーツ教育課程)設置



Ⅳ. データで見る桃山学院

■ 桃山学院大学大学院 <全入試制度合計（秋入学除く）>

研究科・課程		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	研究科・課程		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
文学	博士前期	募集人員	10	10	10	10	経済学	博士前期	募集人員	10	10	10	10
		志願者数	7	2	5	1			志願者数	12	16	5	6
		受験者数	7	2	5	1			受験者数	12	15	5	6
		合格者数	3	2	4	1			合格者数	8	9	3	4
		倍 率	2.3	1.0	1.3	1.0			倍 率	1.5	1.7	1.7	1.5
	博士後期	入学者数	2	2	4	1		博士後期	入学者数	5	8	2	3
		募集人員	4	4	4	4			募集人員	3	3	3	3
		志願者数	0	0	0	0			志願者数	5	1	2	1
		受験者数	0	0	0	0			受験者数	5	1	2	1
		合格者数	0	0	0	0			合格者数	5	1	2	1
社会学	博士前期	倍 率	-	-	-	-	経営学	博士後期	倍 率	1.0	1.0	1.0	1.0
		入学者数	0	0	0	0			入学者数	5	1	2	1
		募集人員	10	10	10	10		博士前期	募集人員	10	10	10	10
		志願者数	28	33	18	30			志願者数	17	22	7	14
		受験者数	27	32	16	30			受験者数	15	20	5	13
	博士後期	合格者数	12	8	7	16			合格者数	8	11	4	8
		倍 率	2.3	4.0	2.3	1.9			倍 率	1.9	1.8	1.3	1.6
		入学者数	8	6	6	11			入学者数	8	9	3	6
		募集人員	3	3	3	3		博士後期	募集人員	3	3	3	3
		志願者数	3	0	0	2			志願者数	0	0	0	0
社会学	博士前期	受験者数	3	0	0	2			受験者数	0	0	0	0
		合格者数	3	0	0	1			合格者数	0	0	0	0
		倍 率	1.0	-	-	2.0			倍 率	-	-	-	-
	博士後期	入学者数	3	0	0	1		合計	入学者数	0	0	0	0
		募集人員	40	40	40	40			募集人員	40	40	40	40
		志願者数	64	73	35	51			志願者数	64	73	35	51
		受験者数	61	69	31	50			受験者数	61	69	31	50
		合格者数	31	30	18	29			合格者数	31	30	18	29
社会学	博士前期	倍 率	2.0	2.3	1.7	1.7		博士後期	倍 率	2.0	2.3	1.7	1.7
		入学者数	23	25	15	21			入学者数	23	25	15	21
		募集人員	13	13	13	13		合計	募集人員	13	13	13	13
		志願者数	8	1	2	3			志願者数	8	1	2	3
		受験者数	8	1	2	3			受験者数	8	1	2	3
	博士後期	合格者数	8	1	2	2			合格者数	8	1	2	2
		倍 率	1.0	1.0	1.0	1.5			倍 率	1.0	1.0	1.0	1.5
		入学者数	8	1	2	2			入学者数	8	1	2	2
		募集人員	40	40	40	40			募集人員	40	40	40	40
		志願者数	64	73	35	51			志願者数	64	73	35	51

■ 桃山学院中学校高等学校

		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
中学校	募集人員	120	120	120	120	120
	志願者数	600	564	560	620	668
	受験者数	452	430	418	476	534
	合格者数	283	280	286	277	291
	倍 率	1.6	1.5	1.5	1.7	1.8
	入学者数	124	122	128	126	128
高等学校	募集人数	400	400	400	400	400
	志願者数	1,660	1,770	1,922	1,917	1,772
	受験者数	1,642	1,729	1,888	1,874	1,747
	合格者数	1,624	1,707	1,868	1,846	1,700
	倍 率	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
	入学者数	433	575	609	581	507

(参考)

■ 桃山学院教育大学 <全制度合計（編・転入学除く）>

学部・学科 課程		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
小学校教育	募集人員	140	140	120	120	—
	志願者数	982	696	415	683	—
	受験者数	946	684	413	655	—
	合格者数	673	614	363	351	—
	倍 率	1.4	1.1	1.1	1.9	—
	入学者数	135	101	101	123	—
人間教育・人間教育※1	募集人員	50	50	30	30	—
	志願者数	143	134	63	99	—
	受験者数	141	130	63	97	—
	合格者数	107	119	54	88	—
	倍 率	1.3	1.1	1.2	1.1	—
	入学者数	21	28	23	34	—
健康・スポーツ教育	募集人員	80	80	120	120	—
	志願者数	440	368	296	340	—
	受験者数	422	354	291	333	—
	合格者数	265	281	253	223	—
	倍 率	1.6	1.3	1.2	1.5	—
	入学者数	93	118	119	127	—
合計	募集人員	270	270	270	270	—
	志願者数	1,565	1,198	774	1,122	—
	受験者数	1,509	1,168	767	1,085	—
	合格者数	1,045	1,014	670	662	—
	倍 率	1.4	1.2	1.1	1.6	—
	入学者数	249	247	243	284	—

※1:2021年度より小学校教育コースから小学校教育課程、幼児保育コースから幼児教育課程、健康・スポーツ教育コースから健康・スポーツ教育課程へ。



4. 就職状況 (2024 年度)

■ 桃山学院大学

□実績 (対象: 留年生を除く4年次生のみ) (2025年5月15日現在) ※()内は2023年度確定数字

・卒業生数 [a] ……………	1,483名 (1,226名)	・進学者数 [d] ……………	30名 (34名)
・就職希望者数 [b] ……………	1,369名 (1,113名)	（うち、大学院進学者数）	26名 (20名)
・就職決定者数 (自営含む) [c] ……	1,355名 (1,102名)	・就職決定率 (分母: 希望者) [c/b]	99.0% (99.0%)
		・就職決定率 (分母: 卒業生) [c/a]	91.4% (89.9%)

□主な就職先

【建設業】

大和ハウス工業(株)、積水ハウス(株)、新菱冷熱工業(株)、(株)竹中土木、(株)中電工、パナソニックAWエンジニアリング(株)、(株)ジャクエツ、住友林業(株)、明星工業(株)、四電エンジニアリング(株)、(株)ミライト・ワン、旭化成ホームズ(株)、日本コムシス(株)、(株)日立プラントサービス

【製造業】

山崎製パン(株)、フジパングループ本社(株)、(株)ジェイテクト、(株)豊田自動織機、(株)東芝、東芝テック(株)、パナソニック(株)、(株)キーエンス、シキボウ(株)、太陽工業(株)、永大産業(株)、(株)リヒトラブ、ザ・バック(株)、大日本塗料(株)、大日本除虫菊(株)、ニチレキグループ(株)、(株)十川ゴム、宇部マテリアルズ(株)、モリ工業(株)、新家工業(株)、丸一鋼管(株)、三協立山(株)、アマノ(株)、新東工業(株)、ジャパンマテリアル(株)、日機装(株)、ミネベアミツミ(株)、ホーチキ(株)、極東開発工業(株)、トピー工業(株)、大研医器(株)、キョーラク(株)、(株)モリタホールディングス、(株)琉球新報社、クリナップ(株)、(株)フセラシ、文化シャッター(株)

【卸売業】

伊藤忠食品(株)、(株)ペヤングホールディングス、(株)サンゲツ、(株)日伝、(株)スリーボンド、エムエム建材(株)、(株)PALTAC、(株)ドウシシャ、(株)あらた、(株)良品計画、(株)シヨクリュー、日本ハムマーケティング(株)、ケイ低温フーズ(株)、旭食品(株)、明治フレッシュネットワーク(株)、(株)スズケン、高圧ガス工業(株)、(株)ケーエスケー、太陽日酸ガス&ウェルディング(株)、(株)メディセオ、アルフレッサ(株)、住商メタルワン鋼管(株)、モリテックスチール(株)、フルサト工業(株)、川重商事(株)、中央自動車工業(株)、(株)モリタ、英和(株)、日本メトロニック(株)、渡辺パイプ(株)、(株)システナ、(株)立花エレテック、(株)サンセイテクノス、ナブコドア(株)、ダイワボウ情報システム(株)、ナイス(株)、(株)ドーム

【小売業】

(株)ニトリ、コーナン商事(株)、イオンリテール(株)、(株)ファミリーマート、(株)アーバンリサーチ、ルイ・ヴィトンジャパン(株)、(株)ビームス、(株)ロピア、(株)万代、(株)ライフコーポレーション、(株)ホンダモビリティ近畿、(株)カーポートマルゼン、上新電機(株)、(株)ビックカメラ

【金融・保険業】

(株)関西みらい銀行、(株)池田泉州銀行、(株)南都銀行、(株)紀陽銀行、(株)みなと銀行、(株)トマト銀行、(株)山陰合同銀行、(株)島根銀行、(株)徳島大正銀行、(株)高知銀行、(株)四国銀行、(株)イオン銀行、(株)三十三銀行、大阪シティ信用金庫、大阪信用金庫、尼崎信用金庫、きのくに信用金庫、京都北都信用金庫、大和信用金庫、近畿産業信用組合、堺市農業協同組合、奈良県農業協同組合、東洋証券(株)、岡三証券(株)、メットライフ生命保険(株)、三井住友海上火災保険(株)、明治安田生命保険相互会社

【不動産業】

近鉄不動産(株)、ケイアイスター不動産(株)、大和ハウスリアルエステート(株)、(株)京阪流通システムズ、住友不動産販売(株)、大和ハウスリアルティマネジメント(株)

【運輸・通信業】

Peach・Aviation(株)、近畿日本鉄道(株)、鴻池運輸(株)、西日本旅客鉄道(株)、四国旅客鉄道(株)、(株)Kスカイ、阪神高速パトロール(株)、センコー(株)、三菱ケミカル物流(株)、(株)名門大洋フェリー、羽田空港サービス(株)、日通NECロジスティクス(株)、日本通運(株)、三和倉庫(株)、日本郵便(株)、(株)阪急阪神エクスプレス

【教育・マスコミ・公益・その他サービス業】

広島市教育委員会、(学)角川ドワンゴ学園、青森放送(株)、エン・ジャパン(株)、(株)日立システムズエンジニアリングサービス、(株)アルプス技研、(株)船井総合研究所、旭情報サービス(株)、NCS&A(株)、日本システム技術(株)、大阪ガスビジネスクリエイト(株)、Sky(株)、(株)日立ソリューションズ西日本、東芝デジタルエンジニアリング(株)、(株)マイナビ、富士ソフト(株)、(株)内田洋行ITソリューションズ、アデコ(株)、(株)NTTネクシア、(株)ベネフィット・ワン、セコム(株)、総合警備保障(株)、(株)三機サービス、阪神高速サービス(株)、(株)アクティオ、(株)テイクアンドギヴ・ニーズ

【医療・福祉関係】

(独)地域医療機能推進機構、(社)民生会、(医)協和会、(医)清水会、(独)国立病院機構、(福)大阪市社会福祉協議会、(福)寝屋川市社会福祉協議会、パナソニックエイジフリー(株)、(福)北摂杉の子会、SOMPOケア(株)、(福)敬仁会、日本年金機構、(株)ベネッセスタイルケア

【公務】

国家公務員 (一般職)、国税専門官、労働基準監督官、自衛隊、大阪府庁、堺市役所、和泉市役所、岸和田市役所、泉大津市役所、泉佐野市役所、羽曳野市役所、高石市役所、東大阪市役所、泉南市役所、大阪狭山市役所、熊取町役場、淡路市役所、五條市役所、広陵町役場、和歌山市役所、橋本市役所、大阪府警察本部、京都府警察本部、和歌山県警察本部、堺市消防局、泉大津市消防本部、八尾市消防本部、貝塚市消防本部、奈良県広域消防組合

■ 桃山学院教育大学

□実績 (対象: 留年生を除く4年次生のみ) (2025年5月15日現在) ※()内は2023年度確定数字

・卒業生数 [a] ……………	228名 (162名)	・進学者数 [d] ……………	10名 (4名)
・就職希望者数 [b] ……………	207名 (154名)	（うち、大学院進学者数）	5名 (4名)
（うち、教職希望者数）[α] ……	120名 (92名)	・就職決定率 (分母: 希望者) [c/b]	100.0% (100.0%)
・就職決定者数 (自営含む) [c] ……	207名 (154名)	・就職決定率 (分母: 卒業生) [c/a]	90.8% (95.1%)
（うち、教職決定者数）[β] ……	120名 (92名)	・教職決定率 (分母: 希望者) [β/α]	100.0% (100.0%)

□主な就職先

【教職】

大阪市立小学校、堺市立小学校、大阪府豊能地区立小学校・中学校、兵庫県内小学校、神戸市立特別支援学校、和歌山県内小学校、京都府立中学校・高等学校、千葉県内小学校、東京都立小学校、神奈川県立小学校、横浜市立特別支援学校、川崎市立小学校・特別支援学校、富山県内小学校・中学校、広島県内小学校・中学校、鳥取県内小学校、島根県内小学校、香川県内小学校、高知県内小学校、福岡県内小学校、北九州市立小学校・特別支援学校、大分県内小学校、宮崎県内小学校、鹿児島県内中学校、帝塚山小学校、N高等学校・S高等学校・R高等学校、大阪緑涼高等学校、大阪暁光高等学校、おおぞら高等学校、第一学院

【保育・福祉・医療関係】

南海かもめ認定こども園、認定こども園武庫愛の園、(学)共立学園新光明池幼稚園、(福)博光福祉会保育事業部、(学)西村学園、認定こども園ひまわり幼稚園、YMCAあわぎ保育園、(福)聖家族の家聖母託児園、(医)民生会ベルランド総合病院、NPO熊取こどもとおとなのネットワーク、(特非)ささゆりあゆみ館



Ⅳ. データで見る桃山学院

【企業等】

アパホテル(株)、(株)いーふらん、(株)飯田産業、(株)ウィルオブ・ワーク、(株) Enrich MR Holdings、(株)エイジェック、(株)エーススタイル、(株)エースリー、(株)エービーシー・マート、(株)オープンハウス、(株)オークワ、(株)河合塾マナビス、グローバルライフ(株)、(株)ケリングジャパン、(株)京阪百貨店、(株)コスモハンズ、サンコーインダストリー(株)、(株)サカイ引越センター、(有)三協設備、(株) JIMOTO、(株) THINK フィットネス、スギホールディングス(株)、スターティア(株)、(株)スマートフィットネス、セコム(株)、泉南乳業(株)、大鉄工業(株)、(株)チクマ、(株)テクノプロ、トヨタカラー南海(株)、南海ウィングバス(株)、西日本イワタニガス(株)、日研トータルソーシング(株)、(株) nobitel、ハウステンボス(株)、(株) P&M、(同)PVH ジャパン、(株)ファースト、(株)フェイスグループ、(株)プレサンスコーポレーション、(株)プレナス、(株)ベンチャーウイスキー、(株)ホンダクリオ南海、(株)舞太鼓あすか組、みずほ不動産販売(株)、ミツイコーポレーション(株)、(株)メルローズ、森村金属(株)、幼児活動研究会(株)、(株)ラングローブ、Leap7(同)、リーフラス(株)、(株)リグア、(株)リパティ、ルートインジャパン(株)、(株)レジデンシャル不動産、(株)ワン・ダイニング

【公務】

大阪府職員(警察行政)、大阪市職員(保育士)、堺市職員(保育教諭)、大阪狭山市職員(幼稚園教諭・保育士)、警視庁、都城市職員(保育士・幼稚園教諭)、国立病院機構(保育士)

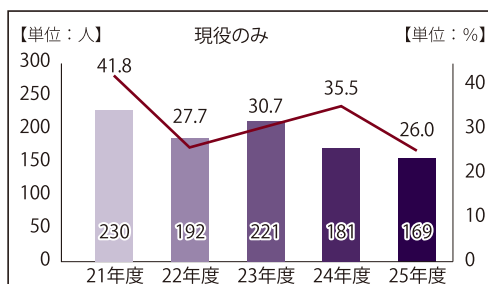
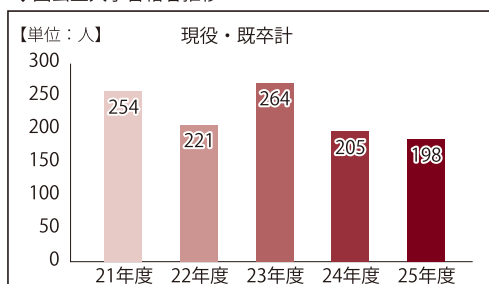
5. 大学入試合格状況 (2025 年度入試)

■ 桃山学院高等学校

※合格者数は延べ数で表記 (2025 年 5 月 19 日現在)

大学名	S選抜/S英数/英数/文理/国際コース (15クラス)			中高一貫コース (3クラス)			総 計	
	現役	既卒	合計	現役	既卒	合計	現役	既卒
国公立大学 合計	158	21	179	11	8	19	169	29
京都大	3	2	5				3	2
大阪大	12	3	15	1		1	13	3
九州大	1		1				1	
東京科学大				1		1	1	
神戸大	11	3	14		1	1	11	4
滋賀医大(医-医)	1		1				1	
高知大(医-医)					1	1		1
大分大(医-医)					1	1		1
京都工芸繊維大	1		1				1	
大阪教育大	15		15	1	1	2	16	1
奈良教育大	1		1				1	
奈良女子大	2	1	3				2	1
和歌山大	20	3	23	2		2	22	3
大阪公立大	28	4	32	3	3	6	31	7
兵庫県立大	7	1	8		1	1	7	2
神戸市外大	4		4				4	
その他の国公立大	52	4	56	3		3	55	4
私立大学 合計	1,241	55	1,296	193	24	217	1,434	79
関西大	144	5	149	13	2	15	157	7
関西学院大	87	6	93	3	3	6	90	9
同志社大	48	3	51	7	1	8	55	4
立命館大	84	5	89	6	4	10	90	9
京都産業大	16		16	3		3	19	
近畿大(医-医)		3	3		1	1		4
近畿大(医-医以外)	381	7	388	20		20	401	7
甲南大	12		12	1		1	13	
龍谷大	56	11	67	4	5	9	60	16
早稲田大	7		7				7	
慶応大	1		1				1	
上智大		1	1					1
東京理大	1		1		1	1	1	1
立教大	5		5	1		1	6	
桃山学院大	66		66	71		71	137	
その他の私立大	333	14	347	64	7	71	397	21
各省庁所管の大学校 合計	1		1				1	0
防衛医科大学校	1		1				1	
海外大学 合計	4		4	2	1	3	6	1
Monash大学	マレーシア	3	3				3	
Taylor's大学	マレーシア	1	1	1		1	2	
延世大学(新村キャンパス)	韓国			1		1	1	
成均館大学校	韓国				1	1		1

◆国公立大学合格者推移



※折れ線グラフの数値＝現役国公立合格者数/卒業生数



6. 国際交流 (2024 年度)

■ 桃山学院大学

国・地域	海外学術交流協定 大学数・機関数※1 (2025年3月現在)	海外留学 派遣者数※2 (桃山学院大学⇒海外)	外国人留学生 受入数※3 (海外⇒桃山学院大学)	国・地域	海外学術交流協定 大学数・機関数※1 (2025年3月現在)	海外留学 派遣者数※2 (桃山学院大学⇒海外)	外国人留学生 受入数※3 (海外⇒桃山学院大学)
中国	6	2	260	北 米	6	1	1
韓国	6	8	17	カナダ	4	4	1
台湾	4	1	15	英国	3		1
マレーシア	1		3	ドイツ	5		4
ベトナム	3	1	15	フランス	2		5
インドネシア	2		3	オランダ	1	1	2
フィリピン	3	10	1	オーストリア	1	1	1
タイ	1	1	2	チェコ	1	1	2
インド	1	4	3	ポーランド	1		2
シンガポール				ロシア	1		3
ミャンマー			5	イタリア	2	2	
カンボジア	1			スペイン	2	1	1
ネパール			1	フィンランド	2	2	
アフリカルワンダ				マルタ共和国		3	
大洋州				中 東			
オーストラリア	2	29	1	トルコ	1		
ニュージーランド	1			合 計	63	72(101)	349(333)

※1:新規協定校のうち、2大学(タイ1、フィリピン1)は学内手続き(国際化推進会議承認)終了済、協定書締結作業中。

※()内は2023年度実績

※2:各種留学・短期海外研修・海外インターンシップ、国際ボランティア等の派遣先国・地域(オンライン含む)

※3:正規課程留学生(在留資格申請中の者を含む)の出身国・地域、交換留学生・日本語プログラム研修生の派遣元大学の国・地域

■ 桃山学院教育大学 (2025 年 3 月現在)

<海外学術交流協定大学数・機関数>

国・地域	大学・機関数
カンボジア	1
韓国	1
カナダ	1
フィリピン	1
タイ	1
ニュージーランド	2

<海外研修実績>

プログラム名	期 間	派遣先	参加者数
タイ研修	2024/8/3～9	タクシン大学(タクシン市)	7名
フィリピン研修	2025/2/9～2/22	アジア・トリニティ大学(ケソン市)	4名
ニュージーランド研修	2025/2/14～2/23	オークランド	5名
カンボジア研修	2025/2/27～3/9	プノンペン、シェムリアップ	11名
カナダ交換プログラム	2025/2/22～3/24	ウォータールー大学(オンタリオ州ウォータールー市)	2名
ヒューム先生と英語を楽しもう (セミプライベートレッスン)	前期・後期 (3～4ヶ月)	学内	前期21名 後期7名

■ 桃山学院中学校高等学校

<海外留学・海外研修実績>

対 象	プログラム名	期 間	派遣先	参加者数
文理コース(文理クラス)・ S英数コース・英数コース	米国聖公会関係学校交換留学制度	2024/8月～1年間 2024/8月～12月	米国(テキサス州) 米国(ミシシッピ州)	1名 1名
	カナダ語学研修	2024/7/3～7/17	カナダ(バンクーバー)	77名
国際コース	カナダ短期留学	2024/7/7～7/28	カナダ(バンクーバー)	40名
	アジア研修	2025/3/23～3/30	台湾	15名
	カナダ長期留学	2025/1月～1年間	ノバスコシア州・オンタリオ州・BC州	33名
一貫コース	イギリス研修	2024/7/4～7/11	イギリス	94名
高3文理コース(アスリートクラス)	修学旅行	2025/2/18～2/20	グアム	42名
中学生	ニュージーランド研修	2025/3/10～3/24	ニュージーランド	41名

<受入実績>

種 別	国・地域	期 間	受入人数
米国聖公会関係学校交換留学留学生	アメリカ	2023/8～2024/7	1
正規課程留学生	中国	2024/4～2027/3	5

7. 学費・諸納付金 (2024 年度)

	項 目	金 額
桃山学院大学(※1)	入学金	230,000円 入学年度のみ
	授業料	1,029,000円 年額
桃山学院大学大学院(※2・3)	入学金	300,000円 入学年度のみ
	授業料	725,000円 年額
桃山学院教育大学(※4)	入学金	230,000円 入学年度のみ
	授業料	1,150,000円 年額
桃山学院中学校(※5)	入学金	200,000円 入学年度のみ
	授業料	620,000円 年額
桃山学院高等学校(※6)	入学金	200,000円 入学年度のみ
	授業料	620,000円 年額

※1 その他委託徴収金として、教育後援会費、同窓会費があります。

※2 各研究科博士前期課程(修士課程)は単位制学費の選択が可能です(社会人のみ)。

※3 その他委託徴収金として、同窓会費があります。

※4 その他委託徴収金として、後援会費、学生会費、学生教育研究災害傷害保険、学研災付帯賠償責任保険があります。

※5 その他徴収費として、PTA会費、生徒会費、体験学習費、学年共同費、副教材・制服等の学校指定用品等があります。

※6 その他徴収費として、PTA会費、自治会費、修学旅行費、学年共同費、副教材・制服等の学校指定用品等があります。

法人事務局

和泉キャンパス

〒594-1198 大阪府和泉市まなび野 1-1



桃山学院大学

和泉キャンパス

〒594-1198 大阪府和泉市まなび野 1-1



大阪・あべのキャンパス

〒545-0011 大阪市阿倍野区昭和町 3-1-57



堺キャンパス

〒590-0114 大阪府堺市南区槇塚台 4-5-1

桃山学院中学校高等学校

昭和町キャンパス

〒545-0011 大阪市阿倍野区昭和町 3-1-64

